

災害時の医療救護マニュアル（案）

令和3年 月

鳥 取 市

（医療対策部）

目 次

第1章 災害時医療の体制	1
第1節 位置付け及び適用対象	1
第2節 東部圏域における災害時の医療体制	3
第2章 災害時医療の活動内容	6
第1節 72時間以内（超急性期）の部門別活動内容	6
第2節 医療対策部の活動内容	10
第3節 医療救護所の活動内容	18
第4節 医療機関の役割と活動内容	20
第5節 災害医療関係機関（三師会）の役割	21
第6節 医薬品・医療材料の搬送・供給等	22
第7節 透析患者、在宅酸素療法患者、妊婦への対応	22
第3章 災害時医療救護の具体的な活動内容	24
第1節 傷病程度の判定・選別（トリアージ）	24
第2節 応急処置	28
第3節 傷病者の搬送	29
第4節 死体検案・検視	30
付属資料	
I 医療救護部配置図	32
II 災害時における関係機関連絡先一覧	
1 災害拠点病院	32
2 救急告示病院	33
3 精神疾患関連救急受入医療機関	33
4 人工透析実施医療機関	33
5 県（防災・医療救護対策関係機関）（平時）	34
6 県（災害対策本部設置時）	34
7 市町（1）（災害対策本部）	34
7 市町（2）（災害医療担当課）	35
8 消防関係機関（東部圏域）	35
9 医療関係機関・団体（東部圏域）	35
10 主要な医薬品・医療用具関係機関・団体	36
11 東部地域災害医療コーディネーター名簿	36
III	
1 SCUの配置イメージ（例）	37
2 SCU（広域搬送拠点設置想定箇所）	38
3 SCU整備資機材保管リスト	39
IV 被害報告様式	
1 （第1報）被害発生報告	41
2 （第2報以降）被害対応結果（経過）報告	42
V 災害備蓄医療品リスト	
1 災害用備蓄医薬品リスト	44
2 災害用備蓄医療材料リスト	45

第 1 章 災害時医療の体制

第 1 節 位置付け及び適用対象

1 位置付け

このマニュアルは、「鳥取市地域防災計画（令和元年度修正）」（以下「地域防災計画」という。）及び、「鳥取市災害医療活動指針（令和元年 10 月制定）」（以下「災害医療活動指針」という。）に基づき、本市及び岩美町、若桜町、智頭町、八頭町（以下「4 町」という。）に大規模な災害が起きた場合の災害時医療救護活動について、実効性を確保するため作成したものである。

2 適用対象

このマニュアルの適用対象は、次のとおりとし、鳥取市災害対策本部医療対策部（以下「医療対策部」という。）の設置後、医療対策部長が必要と認める時期までを活動期間とする。

- ・鳥取県災害対策本部が設置される大規模な災害（震度 5 強以上の地震及び風水害等）が発生した場合
- ・鳥取市災害対策本部が設置される大規模な災害が発生した場合
- ・4 町のいずれかで災害対策本部が設置される大規模な災害が発生した場合

3 災害時の医療救護・連携体制図

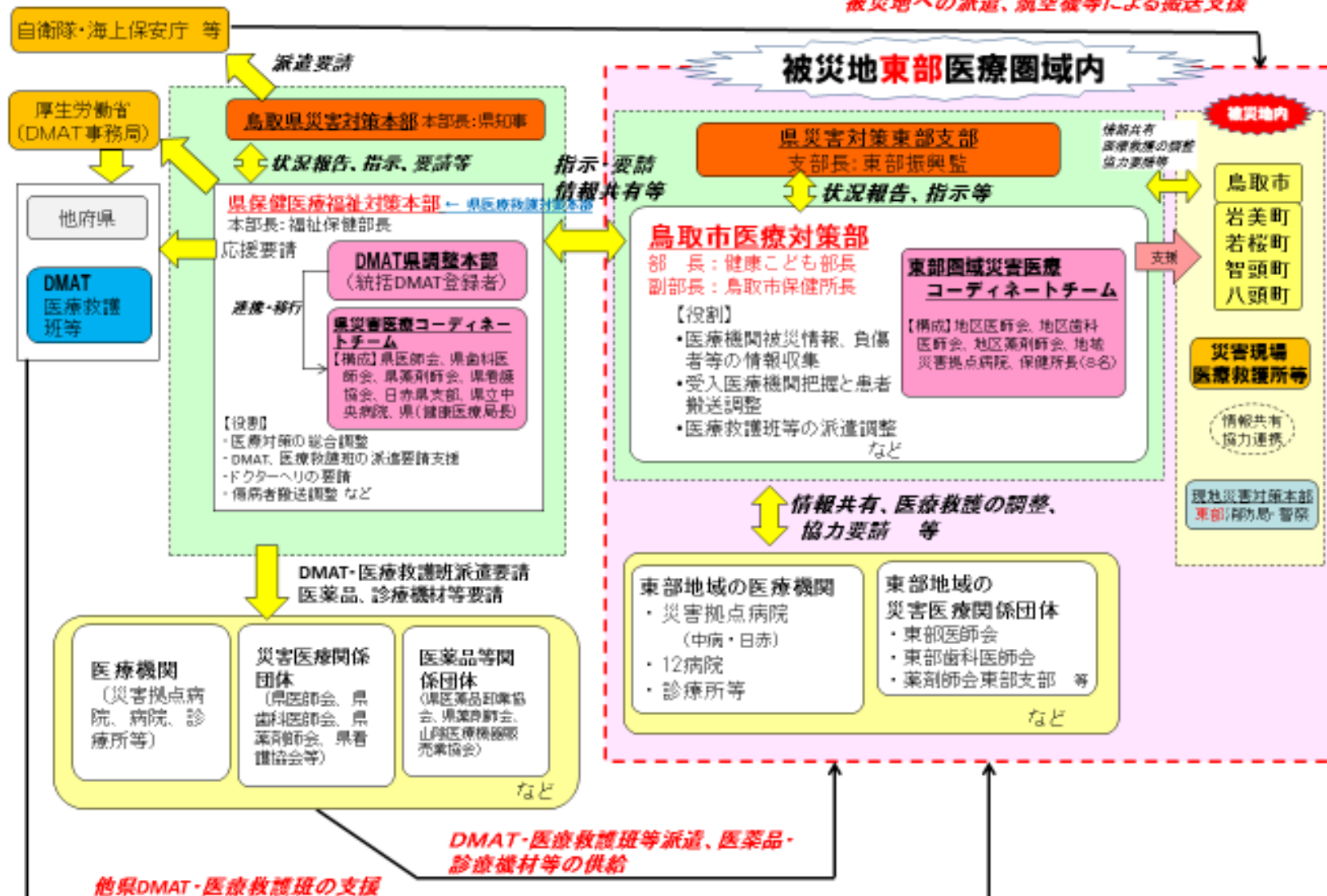
「災害医療活動指針」に次ページのとおり図示されている。

4 訓練及び研修の実施

このマニュアルに基づき、本市、4 町、消防局、医療機関等が連携し、必要に応じて各種訓練を実施するものとし、訓練実施後は、その結果をふまえ必要に応じてマニュアルの見直しを行う。

災害時の医療救護連携・連絡体制（東部医療圏被災時）

被災地への派遣、航空機等による搬送支援



第2節 東部圏域における災害時の医療体制

1 医療対策部について

(1) 概要

医療対策部は、地域住民の生命を守るため、災害発生直後の超急性期に総力を挙げて対処するとともに、本市及び4町の災害対策本部並びに鳥取県保健医療福祉対策本部や医療機関等の関係団体と連携協力し、東部圏域における医療救護活動の総合調整を行う。

(2) 設置場所

鳥取市役所駅南庁舎多目的ホール又は執務室共有スペースに設置

(3) 設置時期

次のいずれかに該当するとき

- ① 本市及び4町のいずれかに災害対策本部が設置されたとき
- ② 東部圏域において震度5強以上の地震が発生したとき
- ③ 東部圏域に津波警報（大津波）の発表があったとき
- ④ その他市長が必要と認めるとき

(4) 医療対策部の構成と役割

構成	主な役割内容	担当者
医療対策部長 副部長	<ul style="list-style-type: none"> ・医療対策部の総括 ・復旧対策、支援要請、搬送等の重要事項の意思決定 ・地域の医療全体の把握及び対応等の意思決定 ・災害医療コーディネートチームの調整 	部長： 健康こども部長 副部長： 鳥取市保健所長
※東部圏域災害医療 コーディネート チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護活動の方針 ・医療救護班の配分調整 ・傷病者の搬送医療機関の確認 	地域災害医療 コーディネーター
災害医療班	<ul style="list-style-type: none"> ・行政、医療機関等との連絡調整 ・医療救護班等の要請及び派遣調整 ・医薬品等の物資調達に係る情報収集と確保 ・医療機関の状況把握と情報管理（EMIS） ・医療機関の被災者受入と搬送の連絡調整 	班長： 保健総務課長 副班長： 保健医療課長
保健救護班	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回保健師班の班編成と派遣調整 ・保健師の巡回による健康相談と保健指導 ・被災者のメンタルケア対応 ・医療救護所の設置、傷病者の応急処置と搬送要請、医療対策部との連絡調整 	班長： 健康・子育て推進 課長 副班長： こども家庭相談 センター所長 こども発達支援 センター所長
生活衛生対策班	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生、食中毒防止への対応 ・狂犬病予防法・動物愛護法に基づく動物の管理指導の対応 	班長： 生活安全課長 副班長： 生活安全課課長 補佐

2 医療救護所の役割

- ① 傷病者の後方医療機関への搬送要否及びその順位決定（トリアージ）
- ② 傷病者に対する応急処置の実施
- ③ 傷病者の後方医療機関への搬送の実施
- ④ 死亡診断（死体検案）の実施

3 行政機関の役割

（１）鳥取県保健医療福祉対策本部（県医療政策課）

- ① 県内の医療救護に関する総合調整
- ② 関係機関からの情報収集や関係機関との連絡調整
- ③ 関係機関に対する協力要請
- ④ 国、他県に対する応援要請及び調整

（２）鳥取県災害対策東部支部（県東部地域振興事務所）

- ① 災害・被害情報の収集、報告、情報提供
- ② 災害応急対策の実施に係る連絡調整
- ③ 関係機関との連絡調整

（３）４町（岩美町、若桜町、智頭町、八頭町）

- ① 被災状況の把握・報告、情報提供
- ② 医療救護所の設置・運営
- ③ 避難所の設置・運営、避難者の健康管理

（４）鳥取県東部広域行政管理組合消防局

- ① 被害情報の早期把握と関係機関との情報伝達手段の確保
- ② 被災傷病者の人命救助活動や、医療機関と連携した救命処置と迅速な搬送の実施
- ③ 救助・救急事案が同時に発生している場合の救命効果の高い優先搬送の実施
- ④ 救助・救急活動が十分に実施できない場合の他消防本部への応援要請

4 災害医療関係機関（三師会）の役割

（１）鳥取県東部医師会

- ① 会員・会員施設の被災状況の把握
- ② 医療救護所等において活動に従事する医療救護班の編成・派遣
- ③ 災害医療コーディネーターの派遣

（２）鳥取県東部歯科医師会

- ① 会員・会員施設の被災状況の把握
- ② 医療救護所等において活動に従事する歯科医師の派遣
- ③ 災害医療コーディネーターの派遣

（３）鳥取県薬剤師会東部支部

- ① 会員・会員施設の被災状況の把握
- ② 医療救護所等において医薬品の管理等に従事する薬剤師及び薬剤師班の編成・派遣
- ③ 災害医療コーディネーターの派遣

5 その他関係機関・団体等の役割

(1) 鳥取県看護協会

- ① 医療救護所（医療救護班）への看護職の派遣
- ② 被災者、避難所の救護・健康相談活動への参加

(2) 鳥取県医薬品卸業協会、山陰医療機器販売業協会、日本産業・医療ガス協会

- ① 医薬品、医療機器、医療ガス等の調達
- ② 本市からの依頼による医薬品等の指定場所への搬送・供給

(3) 鳥取県助産師会

助産師の派遣による妊産婦等・乳幼児に対する保健指導、分娩介助の実施

(4) 鳥取県栄養士会

管理栄養士の派遣による被災者の栄養指導、栄養状態の調査の実施

(5) 鳥取県精神保健福祉士会、鳥取県臨床心理士会

精神保健福祉士、臨床心理士の派遣による被災者のこころの巡回相談及び支援者のメンタルケアの実施

(6) 鳥取県理学療法士会、鳥取県作業療法士会、鳥取県言語聴覚士会

- ① 被災者のうちリハビリテーション対象者の把握
- ② 被災者の生活不活発病（廃用症候群）等の予防を目的とした運動指導実施

6 医療機関の役割

(1) 災害拠点病院（県立中央病院、鳥取赤十字病院）

- ① 自施設の被災状況の確認及び被災傷病者等の受入態勢の状況報告
- ② 重症者（赤）を中心とした傷病者への医療処置の実施
- ③ 災害派遣医療チーム（DMAT）等の派遣
- ④ 医療措置が困難な傷病者の圏域外の災害拠点病院への搬送対応

(2) 救急告示病院（鳥取市立病院、鳥取生協病院、岩美病院、智頭病院〈災害拠点病院を除く〉）

- ① 自施設の被災状況の確認及び被災傷病者等の受入態勢の状況報告
- ② 中等症者（黄）を中心とした傷病者への医療処置の実施
- ③ 医療救護班の派遣
- ④ 医療処置が困難な傷病者の災害拠点病院又は圏域外医療機関への搬送対応

(3) 人工透析実施医療機関（尾崎病院、さとに田園クリニック、クリニック陽まり、吉野・三宅ステーションクリニック〈救急告示病院を除く〉）

- ① 自施設の被災状況及び被災透析患者の受入態勢等の報告
- ② 自施設に通院する透析患者の状況把握
- ② 災害により透析治療が受けられない透析患者の受入れ

(4) 妊婦対応医療機関（鳥取産院、タグチレディースクリニック、みやもと産婦人科医院、さくらレディースクリニック田園町〈救急告示病院を除く〉）

- ① 自施設の被災状況及び被災妊婦の受入態勢等の報告
- ② 災害により医療処置が受けられない妊婦の受入れ

第2章 災害時医療の活動内容

第1節 72時間以内（超急性期）の部門別活動内容

1 部門別の活動内容

次の整理表は、部門別に超急性期（発災後72時間以内）をさらに「① 数時間以内」「② 24時間以内」「③ 24時間～72時間」の三段階に区分し、それぞれの機関が時間区分ごとに行動すべき内容を整理したものである。

【時間別各機関活動内容】

時間区分 機関	① 数時間以内	② 24時間以内	③ 24～72時間
医療対策部	<ul style="list-style-type: none"> ・医療対策部を設置 ・関係機関との通信手段の確保 ・医療機関の被災状況と傷病者の受入態勢等の情報収集 ・医療救護所の設置の検討 ・県保健医療福祉対策本部への報告 ・災害医療コーディネーターの招集 	<ul style="list-style-type: none"> ・傷病者の受入態勢の状況把握と患者搬送の連絡調整 ・医療救護班の派遣要請 ・医療救護所の設置・運営 同左 ・災害医療コーディネートチーム調整会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 同左 ・医療救護活動の実施 同左
東部圏域災害医療 コーディネートチーム	<ul style="list-style-type: none"> ・医療対策部からの招集により参集 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療コーディネートチーム調整会議の開催 ・DMAT活動拠点本部からの情報引継ぎ ・医療救護班の受入と配置調整 ・患者の搬送先となる病院の受入調整 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 同左

時間区分 機関	① 数時間以内	② 24 時間以内	③ 24～72 時間
医療救護所	・施設管理者と連携し開設準備	・医療救護所の設置 ・傷病者のトリアージの実施 ・重症者、中等症者の後方医療機関への搬送の要請 ・軽症者の応急処置	同左 同左 同左
4 町	・医療救護所設置の検討	・医療救護所の設置 ・消防局への傷病者の搬送要請 ・遺体収容所の開設	・医療救護活動の実施 同左 ・遺体収容の実施
東部消防局	・傷病者の救出・救命処置、搬送 ・域内で受入医療機関の確保が困難な場合は医療対策部へ要請	同左 同左	同左 同左
警察署	・遺体の搬入・搬出 ・検視（死体検案）の実施	同左 同左	同左 同左
鳥取県東部医師会	・医師会員の被災状況把握 ・災害医療コーディネーターの派遣	同左 ・医療救護所への医師又は医療救護班の派遣 ・警察要請による死体検案への協力 同左	同左 同左 同左
鳥取県東部歯科医師会	・歯科医師会員の被災状況把握 ・災害医療コーディネーターの派遣	同左 ・医療救護所への歯科医師の派遣 同左	同左 同左

時間区分 機関	① 数時間以内	② 24 時間以内	③ 24～72 時間以内
鳥取県薬剤師会東部支部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤師会員の被災状況把握 ・ 災害医療コーディネーターの派遣 	同左 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療救護所への薬剤師の派遣、薬剤師班の編成・派遣 同左 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品・医療材料等の供給 	同左 同左 同左
鳥取県看護協会		<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療救護所への看護職の派遣 	同左
医薬品卸業協会 医療機器販売業協会 産業・医療ガス協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品、医療材料等の調達 ・ 医薬品、医療材料等の保有情報の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品、医療材料等の搬送・供給 	同左
災害拠点病院 〔 県立中央病院、 鳥取赤十字病院 〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の被災状況、傷病者の発生状況及び受入態勢の状況報告 ・ E M I S (広域災害救急医療情報システム)に情報登録 (1 時間以内) ・ D M A T の派遣 ・ 来院した傷病者のトリアージの実施 ・ 来院した全ての傷病者に医療処置 (重症者への医療処置を中心) ・ 遺体収容所の設置 [基幹災害拠点病院] <ul style="list-style-type: none"> ・ D M A T 活動拠点本部の設置 ・ D M A T の受入窓口の設置 	同左 <ul style="list-style-type: none"> ・ E M I S に情報登録 (随時更新) 同左 <ul style="list-style-type: none"> ・ 搬送された傷病者のトリアージの実施 ・ 重症者への医療処置 ・ 医療処置が不可能な傷病者の域外搬送を医療対策部に要請 <ul style="list-style-type: none"> ・ D M A T の受入 ・ 傷病者搬送用のヘリポートの設置 	同左 同左 同左 同左

時間区分 機関	① 数時間以内	② 24 時間以内	③ 24～72 時間以内
救急告示病院（災害拠点病院を除く） 〔市立病院、鳥取生協病院、岩美病院、智頭病院〕	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の被災状況、傷病者の発生状況及び受入態勢の状況報告 ・E M I S に情報登録（1 時間以内） ・来院した傷病者の トリアージの実施 ・来院した全ての傷病者に医療処（中等症者への医療処置を中心） ・重症者は、原則、災害拠点病院又は、圏域外病院への搬送を医療対策部に要請 	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> ・E M I S に情報登録（随時更新） ・搬送された傷病者のトリアージの実施 ・中等症者への医療処置 ・医療処置が不可能な傷病者の域外搬送を医療対策部に要請 	<p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中等症者、軽症者への医療処置 <p>同左</p>
人工透析対応医療機関 〔県立中央病院、鳥取赤十字病院、鳥取市立病院、鳥取生協病院、岩美病院、智頭病院、尾崎病院、吉野・三宅ステーションクリニック、さとに田園クリニック、クリニック陽まり〕	<ul style="list-style-type: none"> ・自施設の被災状況、患者の受入態勢の状況報告 ・E M I S に情報登録（1 時間以内） ・日本透析医会災害時情報ネットワークに情報登録（1 時間以内） ・各施設の災害時マニュアルに沿って活動 	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> ・E M I S に情報登録（随時更新） ・日本透析医会災害時情報ネットワークに情報登録（随時更新） ・自施設の透析患者の状況把握 	<p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p>
妊婦対応医療機関 〔鳥取産院、タグチレディースクリニック、みやもと産婦人科医院、さくらレディースクリニック〕	<ul style="list-style-type: none"> ・病院等の被災状況、患者の受入態勢の状況報告 ・E M I S に情報登録（1 時間以内） ・各施設の災害時マニュアルに沿って活動 	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> ・E M I S に情報登録（随時更新） <p>同左</p>	<p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p>

第2節 医療対策部の活動内容

1 災害超急性期における主な関係機関との連絡体制の確保

(1) 医療機関の被災状況に関する情報収集（担当：災害医療班）

発災直後は、関係医療機関との連絡可否を確認し、被害情報等の情報収集を行う。
被害情報の収集は、発災直後は、様式1「被害発生報告（第1報）」により、被害対応経過（第2報以降）は、様式2「被害対応結果（経過）報告」により行う。

なお、同時並行での状況把握のため、広域災害救急医療システム（以下「EMIS」という。）を活用した情報の共有化に努める。

区分	医療機関名	連絡・情報収集
災害拠点病院	県立中央病院、鳥取赤十字病院	医療対策部から直接 連絡、E M I Sによ る情報共有が原則
救急告示病院	鳥取市立病院、鳥取生協病院、岩美 病院、智頭病院	
人工透析対応医療機関	尾崎病院、吉野三宅ステーションク リニック、さとに田園クリニック、 クリニック陽まり	
その他の病院、診療所	鳥取県東部医師会に会員の情報収集を依頼	

EMISへの入力不可能的な医療機関については、当該医療機関から聞き取った情報により代行入力を行う。（必要に応じて、職員派遣等で収集した情報等をもとに医療対策部が代行入力）

【参考】

EMIS：広域災害救急医療情報システム
(EMIS: Emergency Medical Information System)

1 目的

大災害が発生した場合に、早急に被災地内外の医療機関の稼働状況などの情報を収集・提供し、迅速かつ適切な医療救護活動を支援するために厚生労働省の全国的なインターネットを活用したシステムである。

→ 阪神淡路大震災での教訓を基に厚生労働省が構築したシステム。

※ 鳥取県救急医療情報システムに連動している。

- ・災害時に最新の医療資源情報を関係機関（都道府県、医療機関、消防等）へ提供
- ・超急性期の診療情報（緊急情報）を即時に集約、提供
- ・急性期以降の患者受入情報（詳細情報）等を随時集約、提供
- ・DMAT指定医療機関から派遣されるDMATの活動状況の集約、提供

2 システム概要（システムで取り扱う情報）

- ・医療機関建物・施設被害の有無
- ・患者収容の可否（手術受入可否、人工透析可否、受入実績、転送必要患者数）
- ・医療機関ライフラインの可否
- ・DMAT管理機能

3 システムの活用方法

- ・災害が発生した場合、各病院は早急に被災状況・患者収容の可否などの情報を入力。
- ・医療機関、消防局はE M I Sを活用し、患者搬送を行う。
- ・国、他県はE M I Sを活用し、支援（広域搬送、DMA T派遣）を行う。

（２）４町災害対策本部等との連絡調整

４町への連絡の可否、窓口確認（責任者、担当者、連絡手段）を行い、４町内での被害情報、傷病者の発生情報、避難所・医療救護所の設置状況等の情報収集を行う。

- ① 岩美町： 岩美町災害対策本部
- ② 若桜町： 若桜町災害対策本部
- ③ 八頭町： 八頭町災害対策本部
- ④ 智頭町： 智頭町災害対策本部

（３）情報収集のための通信基盤の確保

医療機関、鳥取県東部医師会等との連絡について、衛生携帯電話、I P無線、電話、F A X、電子メール等の通信基盤による連絡可否の確認を行う。

（４）通信基盤により連絡ができない場合の対応

連絡が不可能な状況から深刻な被災が想定されるため、様々な連絡手段での情報収集を行う。なお、職員派遣による情報収集が必要と判断した場合は、派遣職員の安全を確認し、十分な体制で実施する。

① 職員派遣に際しての安全確認

派遣先までの安全な移動経路、活動中の派遣職員との通信手段について確認を行う。

② 派遣情報収集チームの編成

職員の派遣が可能と判断された場合は、派遣情報収集チームを編成し、派遣する。派遣に際しては、派遣先、移動手段、派遣人員、携行連絡手段など、情報収集活動に必要な事項を明示する。

- ・派遣人員： ４名程度（リーダー、情報収集担当、記録担当、通信担当）
- ・移動手段： 車両、バイク、自転車、徒歩等
- ・携行連絡機器： 衛生携帯電話、携帯電話、モバイルP C

〔派遣情報収集チームの装備〕

派遣情報収集チームは、鳥取市保健所の災害派遣である旨の表示（ビブス）を着用し、携行連絡機器のほか、安全確保のため次の物品を携行する。

〔 ヘルメット、ヘッドランプ、水筒、安全靴、記録用ノート、デジタルカメラ、
膝当て、肘当て、雨具、防寒着、携行食料等 〕

なお、派遣情報収集チームの派遣人員氏名、派遣先、携行連絡手段、派遣時の連絡状況等は医療対策部内で情報共有を行う。

③ 人員支援の要請について

医療対策部において派遣人員を割くことが困難な場合は、鳥取県保健医療福祉対策本部に対して人員の派遣支援を要請する。

2 その他の関係機関からの情報収集及び報告（担当：災害医療班）

（１）現地調整本部との連絡調整

災害対応の中心となって現地指揮・統制を行っている組織体（※ 現地調整本部等）が活動を行っている場合、班員を積極的に参加させ、東部地域の医療救護対応の調整組織情報収集組織として活用する。

① 医療ニーズ把握及び医療対策部が保有する情報の提供等による情報共有

② 医療ニーズに対する必要な対応を整理し、参加関係機関と実施に必要な調整を行う。

→ 医療救護を統括する組織体を確認できない場合、医療対策部が現地調整本部等の設置・運営の支援を行う。（参考：DMATが医療救護を行う場合の現地指揮所は通常、消防が指揮・統制を行う。）

（※ 現地調整本部等（以下のような組織体が想定される）

警察・消防、医療救護関係組織・機関、県、関係市町等が参加し、医療ニーズへの対応調整を実施する組織を編成

（２）薬局等の被害情報の把握、必要な支援対応の整理

鳥取県薬剤師会に会員の被災状況、災害救護参加の可否、医薬品保有状況等についての情報収集を依頼する。

（３）鳥取県災害対策東部支部からの災害情報の収集

災害に関する全体像の把握と医療救護の実施に必要な情報収集を行うことにより、東部圏域内での処理対応の可否の判断、早期段階での支援要請の実施に繋げる。

（医療対策部が行うべき対応について整理・立案を実施し、部内で可能なものは部内で対応し、対応不可能なものについては、鳥取市災害対策本部統括部（以下「統括部」という。）、鳥取県保健医療福祉対策本部等へ必要な支援要請等を行う。（人員派遣・資機材・物資の支援要請等）

3 受入医療機関の把握と患者搬送の連絡調整（担当：災害医療班）

（１）傷病者の受入可否の把握と患者搬送の連絡調整

① 医療機関からの情報収集

被害発生報告（様式1）、被害対応結果報告（様式2）により医療機関の被災状況及び傷病者の重症度に応じた受入可能情報を収集する。〔重症（赤）、中等症（黄）、軽症（緑）〕

また、透析患者の継続的な治療を維持するため、受入可能な人工透析対応医療機関についても情報収集を行い、EMISを活用した情報共有化により同時並行での状況把握を行う。

② 東部消防局との連絡調整

患者搬送と医療機関の受入調整を円滑に行うため、東部消防局との情報共有と連絡調整を行う。

- ・ 傷病者数等の情報の把握及び情報共有
- ・ 搬送能力（搬送救急車の稼働状況）の把握及び情報共有
- ・ 搬送のための道路情報等の把握（鳥取県災害対策東部支部等から入手）
- ・ 東部圏域内医療機関の傷病者受入可能数（受入能力）の把握（医療機関の傷病者受入可能情報と搬送調整の状況等の把握）
- ・ 東部圏域内での医療救護対応能力の見極めに関する判断についての調整

（２）域外搬送及び広域搬送の決定及び支援要請

東部圏域内での医療機関の受入状況から域内での対応が困難と判断された場合には医療対策部は、鳥取県保健医療福祉対策本部に対して域外搬送或いは広域搬送の実施を要請するとともに、県と協力連携して広域搬送拠点臨時医療施設（以下「ＳＣＵ」という。）を設置する。

〔※ 航空機等を使用して実施する広域搬送のための中継搬送拠点を「ＳＣＵ（Staging Care Unit）」と総称する〕

① 域外搬送（ＳＣＵを利用しない東部圏域外搬送）の実施要請

鳥取県保健医療福祉対策本部に対して域外搬送の実施を要請するとともに、要請に際しては以下の事項について情報伝達を行う。

- ・ 東部圏域内の傷病者の状況及び域内での対応可能な傷病者の状況
- ・ 域外搬送が必要な傷病者の情報

② 広域搬送の実施要請

ア 鳥取県保健医療福祉対策本部に対してＳＣＵの設置を要請するとともに、医療対策部職員を設置準備対応要員として派遣し、東部圏域内設置予定箇所（鳥取県立布勢総合運動公園、鳥取空港）に保管されている資機材の確認、設置準備等を実施する。

イ ＳＣＵ設置・運営に必要な要員確保については、鳥取県保健医療福祉対策本部に対して派遣要請を行う。要員の大幅な不足が想定される場合には、鳥取県保健医療福祉対策本部、鳥取県災害対策東部支部に対して、早期に他機関（自衛隊、消防局等）の支援要請を行うよう求める。

[ＳＣＵ資機材保管場所（ ）内は保管庫等の鍵の保管場所]

- 鳥取県立布勢総合運動公園（保健総務課が管理）（付属資料等Ⅲ－２－（１））
※ 保管資機材リスト（付属資料等Ⅲ－３－（１））
- 鳥取空港（鳥取空港管理事務所内）（付属資料等Ⅲ－２－（２））
※ 保管資機材リスト（付属資料等Ⅲ－３－（２））

[ＳＣＵへの配置を要する要員の例]

- ＳＣＵ設置要員（１０人程度）

<ul style="list-style-type: none"> ・ S C U用資機材を基に設置を行う（設置の例は、Ⅲ-1 を参照） ・ D M A T と共同して設置を行う。（設置後、本部要員として半数を残し医療対策部へ復帰）
<p>○ D M A T（複数チーム）</p> <p>指揮※、医療救護、航空機へ同乗、航空機への医療資機材等の搭載及びこれらの対応に係る人員編成（本部、診療部門、域内・域外搬送管理等の用務に就く）</p> <p>※ 現地 S C U本部の指揮は D M A T が実施し、統括 D M A T 登録者が指揮を執る（当該登録者の到着までの間は最先着 D M A T が指揮を担当）。</p>
<p>○ 本部要員（5 人程度）</p> <p>S C U の運営に係る業務の実施、情報収集・連絡、S C U 内伝令、記録（P C、ホワイトボードへ記録）、資材準備、資材管理、資材調達、派遣支援人員の編成</p>
<p>○ 搬送要員（10 人程度）</p> <p>S C U から広域搬送を行う航空機までの間の搬送を行う。担架、レスキューカー（リヤカー様の車輪付き担架）、救急車両</p>
<p>[S C U への対応期間について]</p> <p>S C U の要員は、S C U 設置以降、S C U の活動の必要があると認められる期間、継続して対応にあたる。（医療対策部は運営が円滑に行われるよう、交代等も配慮し継続的な編成を実施）</p>

4 医療救護班の派遣調整及び災害派遣医療チーム（D M A T）の受入調整（担当：災害医療班）

（1）医療機関の被害情報の把握及び必要な支援対応の整理・立案

① 医療救護班の規模等の設定

医療対策部は、ライフラインの復旧状況、医療機関毎の支援項目を整理し、医療ニーズに対応する医療救護班のチーム数を見込む。

② 医療救護班の鳥取県保健医療福祉対策本部への派遣要請

見込まれる医療ニーズに基づき、鳥取県保健医療福祉対策本部へ医療救護班の派遣を要請する。なお、超急性期（発災後72時間まで）は D M A T、急性期以降（発災後72時間以降）は日赤医療救護班、J M A T 等が主に支援対応を行う。

⇒ 東部圏域内の医療体制の復旧状況を確認しながら、鳥取県東部医師会、鳥取県東部歯科医師会、鳥取県薬剤師会、鳥取県看護協会へも対応を要請し、医療対策部において医療救護班等の派遣調整、派遣支援等必要な対応を実施する。

（ 医療救護班の編成例：日赤医療救護班：医師1名、看護師長1名、看護師2名
主事（後方担当）2名、（薬剤師1名が増強される編成もあり） ）

（2）医療救護班の派遣調整と必要な支援の実施

医療対策部は、医療救護班に派遣先及び派遣先での医療ニーズ等の情報を提供するとともに、必要な支援を実施し、派遣した医療救護班からは派遣先の情報（医療ニーズ）を収集し、必要な対応の検討を行う。

【派遣する医療救護班への支援】

- ・医療救護班の派遣調整（派遣地域、派遣先等、チーム数等）
- ・派遣先の医療機関、救護所等の指定及び派遣先情報の提供
（派遣先の地図、派遣先の被災状況、移動手段、傷病者の状況等）
- ・医療救護班の医療用資機材、医薬品等の補給
- ・医療救護班の衣食住に関する情報提供・支援
- ・医療救護班の移動手段の提供等
- ・その他救護活動に必要な事項

（３）医療救護班の派遣に係る派遣先医療機関への伝達と関係機関等との情報共有

医療救護班の派遣にあたっては、派遣先医療機関にその旨を伝達するとともに、派遣に関する情報を統括部、鳥取県災害対策東部支部、鳥取県保健医療福祉対策本部、消防局、４町災害対策本部、東部圏域の各病院、鳥取県東部医師会、鳥取県東部歯科医師会、鳥取県薬剤師会に提供し情報共有する。

５ ４町への支援（担当：保健救護班、災害医療班）

（１）避難所等巡回の実施

医療対策部は、４町への支援として避難所等への巡回医療救護班、保健師チームの派遣（医療救護・健康相談）を実施し、巡回により収集した情報に基づき、必要な支援等を行う。

【支援事項例】

- ・巡回を実施する巡回チーム（巡回医療救護班、保健師チーム）の基本的構成の決定
- ・巡回医療救護班、保健師チームの編成（派遣地域、派遣先等、チーム数等）
- ・避難所の設置場所の確認（設置場所の地図経路情報等巡回に必要な情報を収集）
- ・避難所の数、避難所の位置等を勘案し、巡回チームの編成を実施する。
- ・避難所以外での対応に係る情報の収集（在宅要支援者等への対応）
- ・巡回チームの活動のための資機材の補給
- ・巡回チームの衣食住の支援（補給、休養等の提供）
- ・その他巡回チームの活動に必要な事項

（２）巡回チームの編成・派遣

① 巡回医療救護班の派遣（担当：災害医療班）

超急性期（発災後72時間まで）はDMA Tを、急性期以降（発災後72時間以降）は日赤医療救護班及び鳥取県東部医師会等で編成された医療救護班を派遣する。

② 巡回保健師チームの派遣（担当：保健救護班）

保健師を中心とした巡回チームを編成し、巡回先の指定、巡回の周期、派遣チーム数を決定の上、巡回活動を実施する。（巡回保健師チームの具体的な活動内容は「鳥取市災害時保健活動マニュアル」による。）

巡回保健師チームの編成例： 保健師 3 名、運転・事務（通信担当） 1 名
必要機材： 血圧計、体温計、携帯電話等通信機器、移動手段（車両等）

なお、巡回チームは巡回活動を通じて避難所等からの医療救護ニーズの聞き取りを行い、医療対策部に報告する。医療対策部は収集した情報により医療救護ニーズを把握し、必要な対応を実施する。

③ メンタルケア、口腔ケア実施（担当：保健救護班、災害医療班）

巡回チームの情報収集に基づき、被災者のメンタルケア、口腔ケアの対応が必要と判断される場合には、メンタルケアには精神科医師、口腔ケアには歯科医師等を中心とした医療救護班を編成することとし、鳥取県保健医療福祉対策本部にそれぞれ、メンタルケア医療救護班、口腔ケア医療救護班の編成に必要な医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士等の派遣支援を求める。

医療対策部は派遣された医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士等を医療救護班として編成、派遣する。

6 医薬品等に関する情報収集（担当：災害医療班）

（１）医薬品等の確保（医薬品卸売業者への要請）

災害時の医薬品等の確保のため、域内の在庫保有状況を把握し、必要に応じて在庫医薬品の提供を要請する。

（２）医薬品等の確保（鳥取県保健医療福祉対策本部への要請）

医療救護に必要な医薬品等が充足されるよう、安定的な供給手段、安全な輸送経路、輸送手段の確保に向けた取組を県に対して要請する。

（３）輸血用血液、血液製剤の供給の確保

輸血用血液、血液製剤の確保のため、鳥取県赤十字血液センターと情報共有を行うとともに安定的な供給を要請する。

7 鳥取県東部歯科医師会、鳥取県薬剤師会との連携（担当：災害医療班）

（１）鳥取県東部歯科医師会に対する協力要請

- ① 被災医療機関への歯科医師の派遣
- ② 医療救護班、巡回医療救護班への歯科医師の派遣
- ③ その他口腔ケアに必要な事項についての支援

（２）鳥取県薬剤師会に対する協力要請

- ① 被災医療機関への薬剤師の派遣
- ② 医療救護班、巡回医療救護班への薬剤師の派遣
- ③ 東部圏域内の薬局の在庫薬品についての供給
- ④ その他医薬品等の確保・供給に必要な事項についての支援

8 東部圏域災害医療コーディネートチームの対応（担当：災害医療班）

（１）災害医療コーディネーターの招集

超急性期（発災後72時間まで）のDMAT活動拠点本部の役割を引き継ぐため、東部圏域災害医療コーディネーター（付属資料等Ⅱ（36頁））を招集する。

※ 東部圏域内のコーディネーターの招集が困難な場合は、県内他圏域のコーディネーターの派遣等の支援を鳥取県保健医療福祉対策本部へ要請する。

（２）災害医療コーディネートチーム調整会議の開催

鳥取市保健所長を調整役とする「東部圏域災害医療コーディネートチーム」を編成し、被災地の医療救護活動に関する調整会議等を開催する。（東部圏域内の総括調整組織として開催）

① 東部圏域災害医療コーディネートチームの編成及び調整会議の実施

東部圏域災害医療コーディネーターに加え、医療救護の実施を行う東部圏域内の関係機関により編成

【チーム編成】

- ・リーダー（鳥取市保健所長）
- ・東部圏域災害医療コーディネーター（医師会、歯科医師会、薬剤師会、赤十字病院の予め委嘱された者）
- ・必要に応じて東部圏域内の関係機関に参加を要請

※ 想定される関係機関

消防局、警察、自衛隊等災害救護支援各機関、被災市町及び被災市町以外の自治体

② 域内の医療ニーズへの対応について調整の実施及び対応の決定

医療救護部で実施する医療ニーズへの対応に必要な調整を実施

- ・限られた医療資源の適切な配分等の判断・調整
- ・被災状況や病院等の診療状況の反映、避難所の状況把握等必要な対応の企画実施

第3節 医療救護所の活動内容

1 概要

医療救護所は、地域医療機関の収容能力を超える多数の傷病者が短時間に発生すると見込まれる場合に、災害発生から数時間以内に医療対策部長が選定する場所に設置する。

傷病者の選別（以下「トリアージ」という。）と応急処置及び傷病者の搬送等、円滑な医療救護活動を行うための拠点として位置付け、医療対策部の要請により招集されたDMAT及び医療救護班の要員等を中心として構成し、医療対策部の指示に基づき、医療救護班長（医師）の指揮下で医療救護活動を実施する。

2 組織及び役割

医療救護所の組織及び役割の基本は次のとおりとし、各要員が協力して医療救護活動にあたるものとする。

（1）責任者【医療救護班長（医師）】

傷病者の受入や派遣要員の調整、医療対策部との連絡調整、搬送先医療機関の選定など、医療救護所の指揮を担当する。

（2）派遣要員【医師・看護師】

トリアージにより傷病者の緊急度を判断し、重症者・中等症者の病院への搬送指示、軽症者等への応急処置等を実施する。看護師はこれらの医師の役割を補助する。

（3）派遣要員【歯科医師】

医師や看護師と協力し、トリアージや軽症者の応急処置等を行う。

（4）派遣要員【薬剤師】

医師や看護師と協力し、トリアージや軽症者への応急処置の補助及び、使用する薬剤の選定、医薬品・医療材料・医療器具の管理、不足する医薬品等の要請等を行う。

（5）派遣要員【ロジスティック（市職員）】

医師や看護師と協力し、トリアージや軽症者への応急処置の補助及び、医療対策部との連絡調整、傷病者の搬送の調整等を行う。

3 医療救護所の設置（担当：保健救護班）

（1）設置手順

- ① 医療救護所への派遣要員は、医療対策部長が選定した場所に医療救護所を設置し、設置場所の施設管理者に報告する。設置後は医療対策部に報告し、医療対策部からの指示を受けて活動する。
- ② 医療救護所は、各要員の参集状況や施設の被災状況、周辺地域の被災状況、傷病者の受入状況などを医療対策部に報告し、輸送手段や資機材、医薬品・医療材料・医療器具、交代要員等が必要な場合は医療対策部に応援を要請する。
- ③ 医療救護所は、傷病者が存在する間は継続して設置することを基本とするが、時間経過や傷病者数、地域の医療機関の復旧状況を考慮し、医療対策部と協議の上、医療救護所の継続の要否、縮小等について検討する。

（２）使用する医薬品・医療材料等の準備

医療救護所で用いる医薬品・医療材料等は、医療救護班が携帯するものを使用するほか、鳥取市保健所が鳥取市立病院において備蓄する救急医薬品等、併せて、医療対策部からの要請により医薬品卸売業者等から供給される医薬品等を充てる。

【参考：医療救護所設置に係る必要エリア、備品】…（出典：日本医師会 J M A T 研修資料）

傷病者受付場所	車いす、担架、机、椅子、筆記用具、ホワイトボード、患者記録用紙など
トリアージエリア	診察用品 ：聴診器、血圧計、ペンライト、止血用ガーゼ等 備品 ：車いす、担架、机、椅子、筆記用具、ホワイトボード、トリアージタグ、災害時カルテなど
軽症者処置エリア	応急処置資機材 ：処置台、診察ベッド、消毒・創傷セット、輸液セット、点滴台、縫合処置・止血セット、照明、ターニケット、骨折ねんざ対応セットなど 備品 ：車いす、担架、机、椅子、筆記用具、ホワイトボード、災害時カルテなど
搬送待機エリア （中等症者、重症者の経過観察・搬送待機）	応急処置資機材 ：待機用ベッド、担架、診察台、点滴台、救命セット、生体モニター、聴診器、血圧計、処置用具 備品 ：車いす、担架、机、椅子、筆記用具、ホワイトボード、災害時カルテなど
調剤エリア	薬品 ：調剤用の棚・机 備品 ：体重計、トランシーバー、携帯・スマホ、車いす、担架、机、椅子、筆記用具、ホワイトボード、災害時処方箋など
・その他：資材保管エリア、医療者休憩室	

４ 医療救護所での医療救護活動（担当：保健救護班〈ロジスティック〉）

- ① 傷病者のトリアージエリアへの誘導・移動
- ② 傷病者のトリアージの実施
- ③ トリアージ後の傷病者の収容エリアへの誘導・移動
- ④ 重症者（赤タグ）及び中等症者（黄タグ）の後方医療機関への受入要請及び搬送の実施
- ⑤ 軽症者（緑タグ）への応急処置の実施
- ⑥ 医療記録（診療録、診療日誌、業務日誌、傷病者一覧）の作成
- ⑦ 医薬品・医療材料・医療器具の需給状況の管理
- ⑧ 心肺停止の者（黒タグ）に対する死体検案書の作成
- ⑨ その他状況に応じた必要事項

５ 医療救護所での留意事項

医療救護所の責任者は、医療救護所における医療従事者の疲労予防のため、休憩・食事・交代等について、医療対策部と連携の上、対応することとする。

第4節 医療機関の役割と活動内容

1 基幹災害拠点病院（県立中央病院）

（1）役割

基幹災害拠点病院は県内の災害医療の中心的役割を担い、圏域における災害拠点病院の役割、活動に加え、傷病者の広域搬送にかかる災害拠点病院間の調整を行う。

（2）活動内容

災害拠点病院間における重症者（赤タグ）の転院搬送の調整を行い、広域搬送の必要を認める場合には、鳥取県保健医療福祉対策本部に対してドクターヘリなど搬送手段の手配を要請する。

2 災害拠点病院（県立中央病院、鳥取赤十字病院）

（1）役割

- ① 24時間緊急対応により、多発外傷、挫滅症候群、広範囲熱傷、溺水等の災害時に多発する救急患者の受入と高度医療の提供を担う。
- ② DMATの派遣、医療救護班の受入
- ③ 患者及び医薬品等の広域搬送拠点としての活動及びこれに伴う地域医療機関との調整地域医療機関への応急用医療資器材の貸し出しの支援。

（2）活動内容

- ① 重症者（赤タグ）を収容し、治療を行いつつ、自院での治療が困難な傷病者が生じた場合には、必要な措置を施し、医療対策部と連携して域外への搬送を実施する。
- ② 現地での医療救護活動が必要な場合は、医療対策部の要請或いは自らの判断により、DMATや医療救護班を派遣する。
- ③ 域外にあっては、域内からの中等症者（黄タグ）を受け入れ、診察を行うとともに、重症者（赤タグ）の受入に備え、中等症者（黄タグ）を含む多数の患者が搬送されてきた場合には、重症者（赤タグ）の診察を行いながら、三次トリアージの拠点として、中等症者（黄タグ）を重症度に応じて、東部圏域内の救急告示病院へ分散搬送を行う。

3 救急告示病院（災害拠点病院を除く：鳥取市立病院、鳥取生協病院、岩美病院、智頭病院）

（1）役割

救急告示病院は災害拠点病院と協力し、率先して患者の受入を行う。

（2）活動内容

- ① 傷病者が殺到することが想定されたため、院内に収容する前にトリアージを行い、その結果、重症者（赤タグ）と判断された患者は、最低限必要な処置を行い、災害拠点病院へ搬送する。
- ② トリアージによって中等症者（黄タグ）と判断された患者を中心に診察、治療を行う。
- ③ 鳥取県東部医師会と連携協力し、医療救護班の編成に協力する。

4 後方医療機関

鳥取県東部医師会と連携協力し、医療救護班の編成に協力するとともに、後方医療機関として医療救護所から搬送のあった軽症者（緑タグ）に対して診察、治療を行う。

第5節 災害医療関係機関（三師会）の活動内容

1 鳥取県東部医師会

- ① 医師会は、会員及び会員医療施設の被災状況の把握と医療対策部へ情報提供する。
- ② 医療対策部からの要請に応じて医療救護班を編成、被災地域の医療救護所等に派遣する。
- ③ 医療救護班は、派遣先の医療救護所等において現場の医療責任者の指示に従い、トリアージ及び軽症者（緑タグ）に対する診察、応急処置を行う。

2 鳥取県東部歯科医師会

- ① 歯科医師会は、医療対策部からの要請に応じて歯科医療救護班を編成、被災地域の医療救護所等に派遣する。
- ② 歯科医療救護班は、派遣先の医療救護所等において、顎口腔内の外傷、義歯紛失などの応急的な歯科医療処置に従事する他、傷病者の後方歯科医療機関への搬送の要否の判断などを行う。
- ③ 医師による死体検案への協力
- ④ 避難生活が長期化した被災者への支援として、誤嚥性肺炎や呼吸器感染症など災害関連疾患の予防のため口腔ケアや口腔衛生啓発活動などの口腔機能向上訓練などの取組を実施する。

3 鳥取県薬剤師会東部支部

- ① 薬剤師会は医療対策部からの要請に応じて医療救護班に参加する薬剤師の派遣や、医薬品の保管管理等に従事する薬剤師班の編成・派遣を行う。
- ② 薬剤師又は薬剤師班は、医療救護所等において医薬品の調剤、傷病者への服薬指導を行うほか、医薬品の在庫管理、医薬品使用に関する医師等への助言・情報提供などを行うとともに、薬剤師班は、医薬品集積所において医薬品の保管管理、保健所や医療救護所への医薬品の供給等を行う。

第6節 医薬品・医療材料の搬送・供給等

1 概要

医療対策部は、発災直後や超急性期（発災後72時間まで）段階においても、物資の供給途絶によって医療救護活動に支障が生じることがないように、救急医薬品等の備蓄を行い、医療救護所等からの要請に応じて搬送・供給を行うとともに、災害時協定に基づき卸・販売事業者団体等から救急医薬品等の供給を受けることにより、医療救護活動に必要な物資の確保を図る。

2 搬送・供給の手段等

医療対策部は、災害発生時に使用する救急医薬品、医療材料等の備蓄品を市立病院への委託により保管管理しており、災害時に設置した医療救護所等から救急医薬品、医療材料等の供給要請を受けた場合は、この備蓄品を市立病院から受領し、医療対策部等の職員の搬送により供給する。

また、医療対策部は、医薬品や医療材料等の卸・販売事業者に対して不足する医薬品等の供給を要請し、必要な医薬品等の確保を図るとともに、さらに、卸・販売事業者からの供給においても確保が困難な場合は、鳥取県保健医療福祉対策本部に対して供給支援の要請を行う。

3 医薬品等の記録保管、費用弁償

医療対策部（医療救護所）は、卸・販売事業者から医薬品等の供給を受けた場合は、薬剤師等の指示に従って医療救護所内での配置を行うとともに、供給を受けた医薬品等の内容について記録・保管し、医療救護所等を閉鎖した後にその費用を弁償する。

第7節 透析患者、在宅酸素療法患者、妊婦への対応

1 透析患者への対応

（1）医療機関、透析患者の状況把握

医療対策部は、医療機関との連絡により当該医療機関の被災状況と透析装置の稼働状況及び受入可能な患者数の把握し、各市町との連絡により受療困難な透析患者の状況を把握する。

（2）透析患者の受入調整・搬送

医療対策部は、医療機関からの患者受入の可否に係る情報に基づき、受療困難患者の受入調整を行うとともに、域内での医療機関の受入対応が困難な場合には、鳥取県保健医療福祉対策本部に対して域外での受入調整を要請する。

また、透析患者が自ら通院できない状況にある場合には、統括部に患者搬送の支援を要請する。

（3）医療提供体制の確保のための必要物資の供給

医療対策部は、断水等により水の供給ができない人工透析対応医療機関が発生した場合には、統括部に対して給水車の配備を要請するとともに、域内において水の供給が困難な場合には、鳥取県保健医療福祉対策本部に域外からの給水支援を要請する。

併せて、透析医療に必要な医薬品、資機材の確保・供給を行う。

(4) 透析患者への連絡

医療対策部は、各市町に対して人工透析対応医療機関の被災状況及び受入可能状況などの情報提供を行い、各市町を通じて透析患者への医療情報提供を行う。

2 在宅酸素療法患者への対応

(1) 在宅酸素療法患者の状況把握

医療対策部は、各市町の指定難病担当部署を通じて在宅酸素療法患者に連絡を行い、次の事項についての安否・被災状況の確認を行う。

- ① 患者及び介護家族の安否状況
- ② 在宅療養の継続を判断するための家屋の被災状況
- ③ 電力の供給状況
- ④ 在宅酸素療法に必要な機器の被災状況及び必要物品の備蓄状況

(2) 情報提供、支援要請

医療対策部は、患者等の安否状況や必要な支援等について、統括部及び鳥取県保健医療福祉対策本部に速やかに情報提供するとともに、救急搬送や必要な資機材の供給に対応するため、消防局や医療機器・ガス販売事業者等に対しても情報提供を行う。

また、患者・家族に対しては、医療機関や訪問看護ステーションの被災状況、医療サービスの提供の可否等の情報提供を行う。

(3) 療養生活の支援

住居や必要な資機材の被害等により在宅療養体制が整わない場合は、受入医療機関の調整、搬送手段の確保を行い、避難入院に向けた支援を行う。

3 妊婦への対応

(1) 妊婦の状況把握

医療対策部は、各市町の母子保健担当部署や巡回保健師からの情報を通じて、妊婦の身体症状の有無や栄養状況を把握するとともに、生活の場である住居の被災状況や不足している物資など、避難生活での生活環境の確認を行う。

なお、妊娠は病気ではないが、妊婦は血栓症（エコノミークラス症候群）のリスクが高いほか、妊娠初期には悪阻への対応や服薬への注意、妊娠中期には妊娠高血圧の発症や流産早産のリスク等があり一層の配慮が必要である。

(2) 妊婦への必要な情報提供

医療対策部は、妊婦に対して妊婦支援体制のある避難所、診療可能な産科医療機関、受診が必要な症状等について情報提供を行う。

(3) 妊婦の受入調整・搬送

医療対策部は、産科医療機関の被災状況を把握するとともに、安否確認情報等から受診治療を要する妊婦を確認した場合には、医療機関の受入調整、搬送手段の確保を行う。

第3章 災害時医療救護の具体的な活動内容

第1節 傷病程度の判定・選別（トリアージ）

1 概要

短時間で最善の救命効果を得るため、傷病者の程度判定と選別により処置や搬送の優先度を判断する方法がトリアージで、救命の順序を決めるものである。医療救護所では、搬送の順位を決めることが主な目的となり、医療機関における治療の優先順位を決定するものと違いがある。

2 手順等

- ① トリアージの判定基準は標準化されており、医療従事者は、トリアージタグに書かれた区分で分類する。
- ② トリアージタグは、4色（黒・赤・黄・緑）のマーカー付きカードであり、必要事項を記入し、傷病者の右手首に取り付けるようにゴムバンドが付いている。
- ③ トリアージタグ（1枚目）は、医療救護所のトリアージ実施者が回収し、医療救護所から医療対策部へ報告・送付する。市は、概ね1年間トリアージタグ（1枚目）を保管する。

3 参考（トリアージとは）

（1）トリアージの目的

「トリアージ」とは、多数の傷病者が同時に発生したとき、傷病者の重症度や治療の緊急度に応じて適切な処置や搬送を行うことにより、できるだけ多くの傷病者を救うため、傷病者の治療の優先度を決定することをいう。

大規模災害の発生によって、傷病者の数が救助可能な要員数を超えている場合には、「できるだけ多くの方へ最良の医療を提供すること（災害医療）」への切替えが重要であり、この際、識別のため使用される票が「トリアージタグ」である。

また、トリアージはその後の治療と搬送へ円滑につながっていることが必要である。

（2）災害現場での医療支援

災害現場での医療支援は、次の3段階がある。

第一段階：トリアージ（Triage）

第二段階：応急処置、治療（Treatment）

第三段階：後方搬送（Transport）

（3）要配慮者の認識と医療支援

- ① 要配慮者（災害弱者）には、トリアージレベルを上げることも考慮する。
- ② 要配慮者（災害弱者）とは、乳幼児及び児童、妊婦、基礎疾患のある傷病者、高齢者、障がい者、施設入所者、旅行者、外国人（言葉の通じない）を言う。

(4) トリアージタグによる分類（優先順位の決定）

- 第一順位：赤色（Ⅰ）…重症。直ちに救命処置が必要な傷病者（例：ショック、気胸）
第二順位：黄色（Ⅱ）…中等症。2～4時間以内に治療を要する傷病者、待機的治療可能（例：バイタルサインの安定した外傷）
第三順位：緑色（Ⅲ）…軽症。救急搬送不要な軽易な傷病者（例：局所の損傷）
第四順位：黒色（Ⅳ）…心肺停止の者または明らかに救命不能な状態の傷病者

(5) トリアージを行う場所

傷病者の状態の変化に対応するため、トリアージを繰り返し行う。

トリアージは、連続的な過程として捉え、傷病者の病的変化に気づき次第、再評価する（再トリアージ）。待機時間がある場合など、随時、再トリアージを行う。

- ① 一次トリアージ：災害現場、医療救護所 START法（振り分け）
- ② 二次トリアージ：医療救護所、搬送直前 PAT法（選別）
- ③ 三次トリアージ：搬送先の病院入口等

(6) トリアージタグ（一次：START法・二次：PAT法）の運用

トリアージ担当者、補助者（記入）を決め、効率よく実施する。

トリアージタグは4枚複写となっており、医療救護所・搬送機関・医療機関がそれぞれの場所で記載し、保管する。

- ① 一次トリアージ：（振り分け）・・・〈 概ね1人当たり30秒で実施 〉
ア トリアージは、専任で行い、タグへの記入は補助者が行う。
イ タグへは、トリアージ実施者の氏名、実施時刻を記入する。
ウ トリアージは、傷病者に対する処置に優先して実施する。
エ トリアージは、生理学的評価に準じた、「START法」で実施する。

【一次トリアージ：START法】

START法（「災害時のトリアージの現状－救急医療の現状と課題」より引用）



オ タグが決定したら、判定色までを切り取り、切り取った不要な紙片はトリアージ実施者が保管する。

カ タグは、直接右手首に付け、衣類等には付けない。

キ タグの記載内容を修正する場合は、新しいタグを使用し、古いタグは斜線を入れて、捨てずにそのまま付けておく。

ク トリアージの結果は、本人と家族に説明する。

ケ タグの1枚目は一次トリアージ実施者が切り取り、搬送リスト作成者に渡す。

コ タグの色別で傷病者を誘導する。

赤色 ⇒ 重症者スペース（赤）へ ⇒ 病院へ搬送

黄色 ⇒ 中等症者スペース（黄）へ ⇒ 病院へ搬送

緑色 ⇒ 軽症者スペース（緑）へ

黒色 ⇒ 心肺停止者スペース（黒）へ

② 二次トリアージ：（選別）

ア 二回目のトリアージでは、詳細なバイタルサインのチェックを実施する。

- ・第1段階、第2段階のいずれかに該当すれば、赤色と判定する。
- ・第3段階に該当するものがあれば、黄色以上に判定し、第4段階に該当する場合は、1段階トリアージの区分を上げることが検討する。

二回目のトリアージで判定が重症になる場合は医療救護班長に速やかに報告する。

【二次トリアージ：PAT法】

PAT法（日本DMAT研修資料より引用）

～第1段階（生物学評価）～	意識	呼びかけ反応なし、不穏	JCS2ケタ以上（GCS 8以下）	
	気道	舌根沈下、気道閉塞		
	呼吸	浅く早い、深く遅い、失調性 胸郭挙上左右差、呼吸音左右差	30回/分以上 9回/分以下	S p O ₂ 90%未満
	循環	橈骨動脈拍動触知不能、弱い、早い脈 皮膚蒼白、冷感、湿潤、活動性出血	HR120以上、50未満	B P 90未満 B P 200以上
	体温			35℃以下

～第2段階（解剖学的評価）～	〈身体所見〉	疑われる病態
	（開放創を伴う）頭蓋骨の変形	（開放性）頭蓋骨骨折
	髄液鼻漏、髄液耳漏	頭蓋底骨折
	顔面の熱傷、鼻毛焼灼、口鼻腔内スス付着、嘔声	顔面、気道熱傷
	頭部皮下気腫、気管変形	緊張性気胸、気管・気道損傷
	（ショックを伴う）外頸動脈の著しい怒張	心タンポナーゼ、緊張性気胸
	気管優位	緊張性気胸、気管損傷
	皮下気腫	気胸、気管損傷
	呼吸音左右差（患部の呼吸音減弱）	血気胸
	胸部動揺、奇異呼吸	フレイルチェスト
	胸部創より気泡混じりの出血	開放性気胸
	腹部膨隆、腹壁緊張、腸管脱出	腹腔内出血、腹部臓器損傷
	骨盤圧痛、動揺、下肢長差	骨盤骨折
	大腿の変形、出血、腫脹、圧痛、下肢長差	両側大腿骨骨折
	四肢麻痺、奇異（腹式）呼吸	上位骨髄損傷
	四肢軟部組織剥脱	デグロービング損傷
	重力物挟まれ・下敷き・ポートワイン尿	圧挫症候群（クラッシュシンドローム）
	頭頸部・体幹部・そけい部への穿通性外傷	重要臓器損傷、大血管損傷
	四肢の切断	専門医の治療を要する切断肢
	外傷を伴う15%以上の熱傷、ショックを伴う広範囲熱傷	専門医の治療を要する重症熱傷

〈第3段階（受症機転）〉
体幹部挟まれ、1肢以上の挟まれ（4時間以上）
高所墜落、爆発、異常温度環境
有毒ガス、NBC汚染

〈第4段階（災害弱者）〉
幼小児、妊婦、高齢者、障害者、旅行者、
外国人、慢性基礎疾患

- a 氏名、年齢、受傷場所、連絡先（電話番号）等の確認
- b 身体図に受傷部位をチェック
- c 1 枚目 → 一次トリアージ実施者が切り取り済み
2 枚目 → 二次トリアージ実施後、医療救護所の責任者が、搬送機関（救急車等）に引き継ぐときに回収保管する。
3 枚目 → 搬送中にトリアージを実施し、搬送の責任者が、医療機関へ引き継ぐときに回収保管する。
4 枚目 → 傷病者とともに救急告示病院へ移動後、病院のトリアージ実施者が回収保管する。（カルテとして使用可能）

ウ 二次トリアージの結果、緑となった傷病者には、応急処置をする。また、応急処置の後に帰宅する際は、トリアージタグは医療救護所の責任者が回収保管する。

エ 傷病者の容態変化等の理由により、トリアージ分類を変更する場合は、次の要領にてタグを運用する。

- a 悪化（黄⇒赤等）・・・装着されているタグに必要な事項を追加記入し、新たな判定色までを切り取る。
- b 軽快（黄⇒緑等）・・・新しいタグを使用し、古いタグの前面全体に×（バツ）印を入れる。古いタグは捨てずに着けておく。



第2節 応急処置

1 概要

発災後は、多数の傷病者が一時的に医療救護所、救急告示病院等に集中することが考えられるが、出来る限り混乱を回避しながらトリアージを実施し、その後適切な応急処置を施した上で、後方医療機関に引き継ぐことが重要である。

2 手順等

- ① 応急処置スペースを確保する。
- ② 指揮系統と役割分担を明確にする。
- ③ 外科的処置の留意点
 - ア 止血を優先する。
 - イ 創は可能な限り水道水等で洗浄する。
 - ウ 汚染のない切創は洗浄後、テープ等で縫合する。
 - エ 汚染創は縫合しない。縫合された汚染創を発見した時はこれを開放する。
 - オ 処置は短時間に終了する範囲にとどめる。
 - カ 杓創（よくそう：杭等の刺さった創）は、そのまま手を付けずに搬送する。
 - キ 骨折は一時的な簡易固定にとどめて搬送する。
 - ク 重度のコンパートメント症候群※1は、減圧処置※2を行ってから搬送する。

※1「コンパートメント症候群」とは、四肢の筋膜、筋間中隔や骨より区画された閉鎖腔（筋区画（コンパートメント））において、内出血や浮腫のために組織内圧の上昇が起こり、その中の血管や神経が圧迫されることにより虚血に陥る症候群をいう。適切に処置を行わないと、筋肉壊死・四肢切断・急性腎不全を合併し、時に死に至ることがある。主な原因としてクラッシュシンドローム、熱傷等がある。

※2「減圧処置」とは、筋区画内圧を下げるため筋膜切開（減張切開）を行うことをいう。感染予防のため、創部の清潔保持に努めることが必要となる。

3 注意事項

- ① 災害の状況を判断しながら現場で必要最小限の処置を行う。
- ② バイタルサインの安定化を第一の目的とする。
- ③ 多数の傷病者を扱う場合でも可能な限り診療録を作成するが、その余裕がない場合はトリアージタグをカルテの代用とする。
- ④ 医療者が不足する場合は現場で臨機応変に援助者を募り、処置の協力を要請する。

第3節 傷病者の搬送

1 概要

医療救護所でのトリアージにより、医療機関への搬送・治療が適当と判断される傷病者が生じた場合には、域内の医療機関での患者受入状況や域外の医療機関との受入調整等の情報を入手して搬送先医療機関を決定するとともに、傷病者の重症度や緊急性を考慮の上、搬送の優先順位を決定して行う。

2 搬送先の依頼・決定

- ① 医療救護所は、医療対策部に傷病者の搬送のための情報提供を依頼し、搬送先の決定に必要な事項として次の情報を入手する。

【入手情報】

- ・搬送可能な病院名
 - ・把握している道路情報
 - ・搬送車両の手配状況 など
- ② 医療救護所は、医療対策部からの情報に基づき、傷病者の搬送先となる後方医療機関を決定し、消防局に搬送を依頼する。
 - ③ 搬送先の決定においては、重症者（赤タグ）は災害拠点病院（県立中央病院、鳥取赤十字病院）を、中等症者（黄タグ）は救急告示病院（鳥取市立病院、鳥取生協病院、岩美病院、智頭病院）を、軽症者（緑タグ）は後方医療機関を搬送先として決定する。
 - ④ 東部圏域内での受入医療機関の確保が困難と判断される場合は、医療対策部を通じて、鳥取県保健医療福祉対策本部に域外での受入医療機関の確保を要請する。

3 傷病者の搬送方法

- ① 傷病者の医療機関への搬送は、原則として重症者（赤タグ）を優先して行う。
- ② 搬送は、派遣要員（事務職員）又は消防職員があたり、可能であれば災害ボランティアの活用を検討する。
- ③ 車両は消防局の救急車において行うほか、救急車の確保が困難な場合には、公用車やタクシーの借上等により本市・4町及び県で確保した車両により搬送する。
なお、病院との調整が整った傷病者で家族等での搬送対応が可能な場合には、搬送を委ねることも検討する。（その場合は、トリアージタグをはがしたりしないよう注意すること。）
- ④ 域外への搬送を行う場合は、原則として域外の救急隊及び災害拠点病院の救急車両等が域内の災害拠点病院を拠点として実施する。

第4節 遺体の検視・死体検案等

1 概要

災害時の医療救護活動においては、傷病者の救出・救護・搬送が最優先されるが、一方で、死亡者が発生した場合には、十分な対応と配慮が求められる。

災害による死亡者は異常死として位置付けられるため、検察等による検視の手続きが必要になる。これに伴い、医療救護活動に携わる医師は、検察からの依頼に基づき、その手続きを医学的側面から協力し、死体検案書等を作成することが想定される。

2 手順等

- ① 医療救護所等でのトリアージの結果、黒色（心肺停止）と判断された場合には、死亡又は救命不能な絶望的状态にあることを確認した時刻及び確認した者の氏名をトリアージタグに明記し、一時遺体安置スペースへ移動する。
- ② その後、遺体は警察の責任で災害対策本部環境部が確保する遺体安置所に搬送され、検察官等が検視を行う。
- ② 死体検案は、検視の後に検察から依頼を受けた医師が行うこととなるが、実施は医師、歯科医師及び補助者からなるチームで行うことが望ましい。
- ③ 遺体の取扱においては、担当者は死亡者等の尊厳を損なうことないよう、また、公衆から見えないよう十分に配慮して対応する必要がある。

3 注意事項

- ① 遺体は、適切な場所に集めて、丁寧に安置する。
- ② 初診時に既に死亡している者及び災害に起因する外傷や疾患が原因で診察中に死亡した者は、検視の対象になる。
 - ア 所轄の警察署に届け出を行い、検視を申請する。
 - イ 検察官又は司法警察官が出向いて検視が行われる。
- ③ 死体検案書を作成する場合の注意点
 - ア 必ず写しを保管する。
 - イ 身体的特徴（ほくろの位置や瘢痕等）を記載し、可能な場合は、写真やビデオを用いて記録を残す。また、身元不明の遺体は、歯科医師によりデンタルチャートを作成し、また、死体検案書の写しやカルテに指紋を押印する。
 - ウ 所持品は、ビニール袋にまとめて封印し、遺体と一緒に保管しておく。
 - エ 死体検案が終了し、身元の確認が終了した遺体は、死体検案書とともに引取人に引き渡す。なお、引取人の氏名と連絡先を確認し、記録する。
- ④ 死亡の宣告について
死亡を宣告する業務は、医師に限られる。死亡を宣告するには、無呼吸、心停止（脈拍触知不可）及び瞳孔の固定・散大を確認するための慣例的な検査を実施することが必要である。

⑤ 遺体の表示について

死亡者には、黒色トリアージタグを付けて明示する。これは、医師が同じ遺体を何度も検案することを避けることを目的とする。

⑥ 遺体の移動について

遺体は、法医学的証拠の一部として、犯罪捜査に重要となるために移動してはならないこととされているが、次の場合は例外として移動が認められる。

なお、遺体の搬出は、警察の業務とされている。

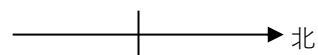
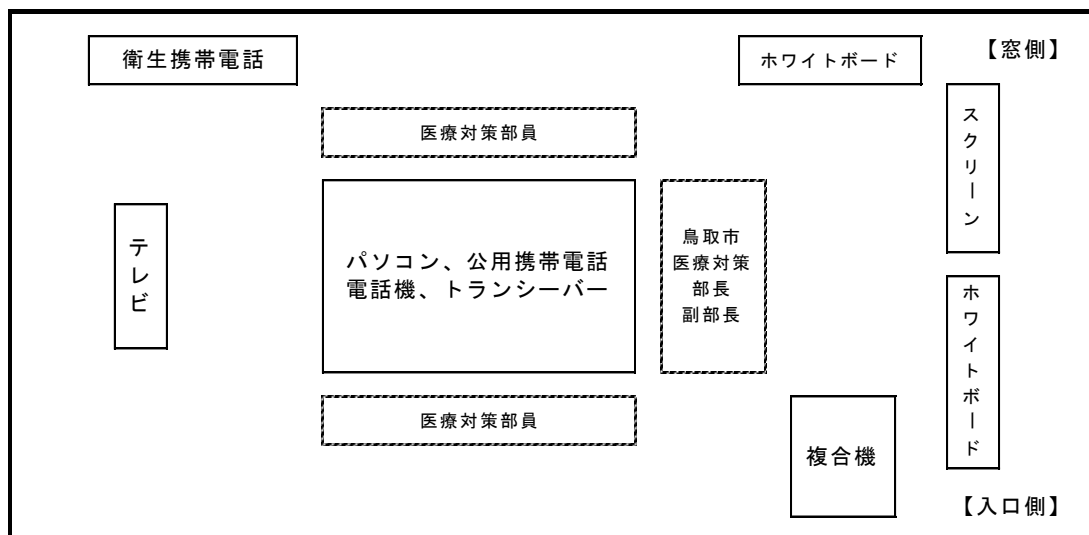
ア 生存者に近づきやすくする場合

イ 火災等から遺体の損傷を避ける場合

(付属資料等)

I 医療対策部の配置図

医療対策部（鳥取市役所駅南庁舎 1 階多目的室または執務室共有スペース）



II 災害時における関係機関連絡先一覧

1 災害拠点病院

病院名	電話番号	F A X 番号	衛星携帯電話番号
(1) 基幹災害拠点病院			
県立中央病院	0857-26-2271 (内線 2266)	0857-29-3227	090-9063-1913 (固定) 080-1933-2084 (可搬)
(2) 地域災害拠点病院			
鳥取赤十字病院	0857-24-8111	0857-22-7903	772582461 (固定) 090-4573-6800 (可搬)
県立厚生病院	0858-22-8181	0858-22-1350	090-4575-9078 (固定) 090-6846-7785 (可搬)
鳥取大学医学部附属病院	0859-33-1111 0859-38-6698	0859-38-6900	090-5266-6806 (固定) 080-1939-3143 (可搬)

※ 災害拠点病院は、救急告示病院でもある。

2 救急告示病院（東部圏域）（災害拠点病院を除く）

病院名	電話番号	F A X 番号
鳥取市立病院	0857-37-1522	0857-37-1553
鳥取生協病院	0857-24-7251	0857-26-1393
岩美町国民健康保険岩美病院	0857-73-1421	0857-73-0028
国民健康保険智頭病院	0858-75-3211	0858-75-4110

3 精神疾患関連救急受入医療機関

病院名	電話番号	F A X 番号
独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター	0857-59-1111	0857-59-1589
社会医療法人明和会渡辺病院	0857-24-1151	0857-24-1024

4 人工透析実施医療機関

病院名	電話番号	F A X 番号
鳥取県立中央病院	0857-26-2271	0857-29-3227
鳥取赤十字病院	0857-24-8111	0857-22-7903
鳥取生協病院	0857-24-7251	0857-26-1393
鳥取市立病院	0857-37-1522	0857-37-1553
岩美町国民健康保険岩美病院	0857-73-1421	0857-73-0028
国民健康保険智頭病院	0858-75-3211	0858-75-4110
尾崎病院	0857-28-6616	0857-31-0730
さとに田園クリニック	0857-30-1515	0857-30-1155
クリニック陽まり	0857-30-1525	0857-30-1535
医療法人社団三樹会 吉野・三宅ステーションクリニック	0857-21-8825	0857-21-8826

5 県（防災・医療救護対策関係機関）（平時）

機関名	電話番号	F A X 番号
鳥取県危機管理局危機管理政策課	0857-26-7064（平日） 0857-26-7064（時間外）	0857-26-8137
鳥取県福祉保健部医療政策課	0857-26-7188（平日） 080-1914-3157（時間外）	0857-21-3048
鳥取県東部地域振興事務所	0857-20-3505（平日）	0857-20-3056
中部総合事務所福祉保健局	0858-23-3140（平日） 090-1922-9319（時間外）	0858-23-4803
西部総合事務所福祉保健局	0859-31-9306（平日） 090-5690-9038（時間外）	0859-34-1392

6 県（災害対策本部設置時）

機関名	電話番号	F A X 番号
県災害対策本部	0857-26-7878 17-5200-110（防災無線）	0857-26-8137
県保健医療福祉対策本部（医療政策課）	0857-26-7188 090-5267-2492（衛星携帯電話）	0857-21-3048
県災害対策東部支部 （東部地域振興事務所）	0857-20-3730～3741 17-5210-120（防災無線）	0857-20-3658 17-5210-129 （防災 FAX）
鳥取市医療対策部（鳥取市保健所）	0857-22-5163 090-7999-4201（衛星携帯電話）	0857-20-0144
県医療救護対策中部支部 （中部総合事務所福祉保健局）	0858-23-3121 090-7999-4203（衛星携帯電話）	0858-23-4803
県医療救護対策西部支部 （西部総合事務所福祉保健局）	0859-31-9306 090-7999-4205（衛星携帯電話）	0859-34-1392

7 町-(1)（災害対策本部）

市町名	電話番号	F A X 番号
岩美町（総務課）	0857-73-1411 17-5340-60（防災無線）	0857-73-1569 17-5340-19（防災 F A X）
若桜町（総務課）	0858-82-2211 17-5350-60（防災無線）	0858-82-0134 17-5350-19（防災 F A X）
智頭町（総務課）	0858-75-4111 17-5360-60（防災無線）	0858-75-1193 17-5360-19（防災 F A X）
八頭町（総務課）	0858-76-0203 17-5370-60（防災無線）	0858-73-0147 17-5370-19（防災 F A X）

7 町-(2) (災害医療担当課)

市町名	電話番号	F A X 番号
岩美町 (福祉課)	0857-73-1322	0857-73-1344
若桜町 (保健センター)	0858-82-2214	0858-82-0134
智頭町 (福祉課)	0858-75-4101	0858-75-4110
八頭町 (福祉環境課)	0858-72-3590	0858-72-3565

8 消防関係機関 (東部圏域)

機関名	電話番号	F A X 番号
東部消防局	0857-23-0119 17-5510-260 (衛星系防災無線)	0857-26-9406 17-5510-19 (防災無線)

9 医療関係機関・団体 (東部圏域)

機関名	電話番号	F A X 番号
公益社団法人鳥取県医師会	0857-27-5566 090-9504-3822 (衛星携帯電話)	0857-29-1578
一般社団法人鳥取県東部医師会	0857-32-7000 090-9063-4299 (衛星携帯電話)	0857-22-2754
一般社団法人鳥取県歯科医師会	0857-23-2621	0857-23-5584
一般社団法人鳥取県東部歯科医師会	0857-23-3197	0857-29-5084
一般社団法人鳥取県薬剤師会	0857-27-6161	0857-27-5084
同上東部支部	0857-21-5421	0857-27-5084
公益社団法人鳥取県看護協会	0857-29-8100	0857-29-8102
一般社団法人鳥取県助産師会	090-1949-2580	0857-21-8119
公益法人鳥取県栄養士会	0858-23-8140	0858-23-8140
鳥取県精神保健福祉士会	0857-21-3031	0857-21-3034
鳥取県臨床心理士会	050-6864-4199	—

9 医療関係機関・団体（東部圏域）・・・〈つづき〉

機関名	電話番号	F A X 番号
一般社団法人鳥取県理学療法士会	0858-24-6930 (倉吉未来中心団体事務局サロン内)	—
一般社団法人鳥取県作業療法士会	080-2930-5010 (Y M C A 米子医療福祉専門学校内)	—
一般社団法人山陰言語聴覚士協会	0859-34-2300 (錦海リハビリテーション病院内)	—

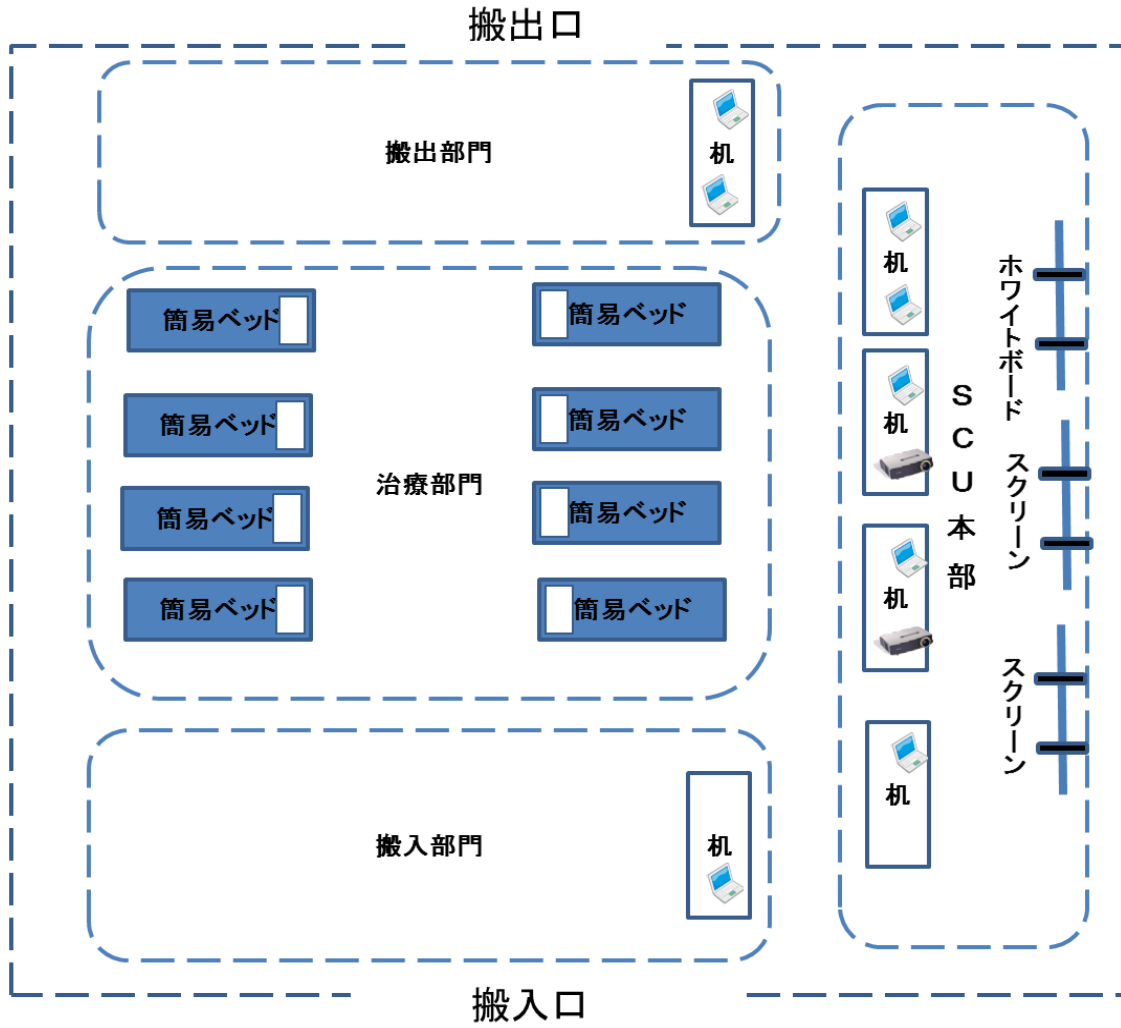
10 主要な医薬品・医療用具関係機関・団体

機関名等	電話番号	F A X 番号
鳥取県医薬品卸業協会(サンキ)	0859-24-1882	0859-24-1276
日本産業・医療ガス協会県内企業(山陰酸素工業)	0859-32-7114	0859-23-3950
山陰医療機器販売業協会(小西医療器(株)米子営業所)	0859-33-4671	0859-33-4744

11 東部地域災害医療コーディネーター名簿（令和2年11月1日現在）

所属名	職名	氏名	職種・分野
鳥取赤十字病院	外科部長兼救急科部長	山代 豊	地域災害拠点病院医師 統括DMAT
一般社団法人 鳥取県東部医師会	理事	渡邊 健志	医師
一般社団法人 鳥取県東部歯科医師会	専務理事	小濱 裕幸	歯科医師
一般社団法人 鳥取県薬剤師会東部支部	専務理事	山田 博也	薬剤師
鳥取赤十字病院	副院長	小坂 博基	医師（透析）
鳥取赤十字病院	医師	竹内 薫	医師（産婦人科）
鳥取県立中央病院	部長	堂本 友恒	医師（小児科）
鳥取市保健所	所長	長井 大	医師、調整役

Ⅲ－１ SCUの配置イメージ(例)



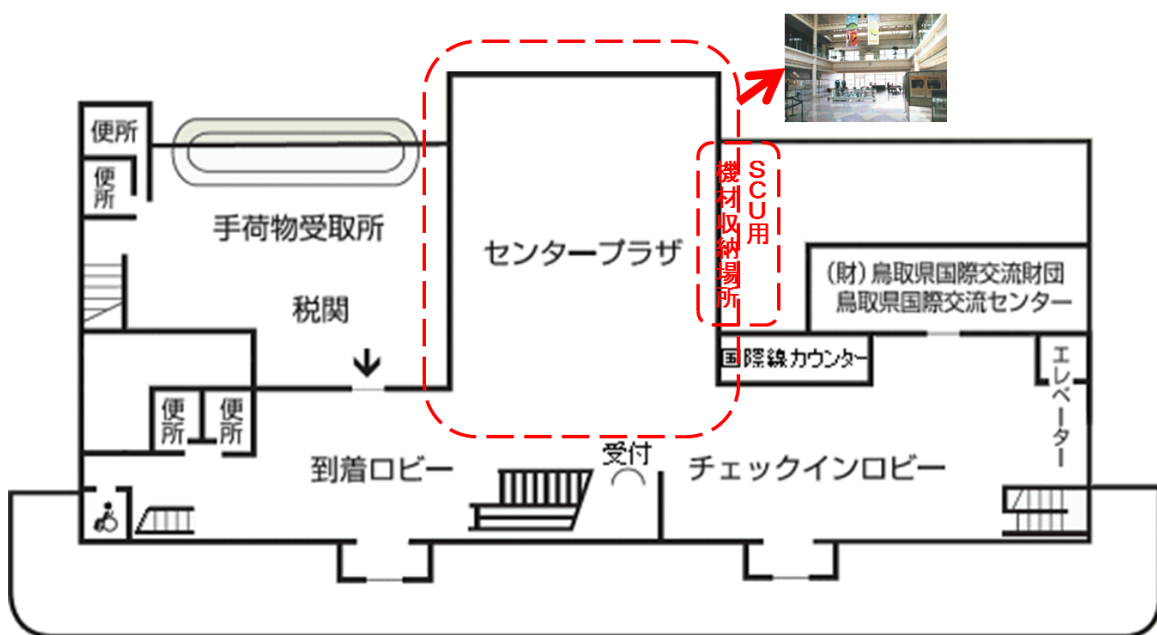
Ⅲ-2 SCU (広域搬送拠点設置想定箇所)

(1) コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク (球技場内)



Ⅲ-2 SCU (広域搬送拠点設置想定箇所) :

(2) 鳥取空港 (国際会館1階 センタープラザ)



※ 鳥取空港のSCU用資機材収納場所の鍵は、鳥取空港管理事務所内で管理

Ⅲ－３ SCU整備資機材保管リスト

設置場所	(1) コカ・コーラボトラーズ・ジャパンスポーツパーク (県立布勢総合運動公園)		
種別	名称	数量	備 考 (商品名等)
通信機器 記録機器	携帯型デジタルトランシーバー(登録局)	※(5)	SCU内関係者との交信 アイコム IC-DPR6 (※鳥取空港で管理)
	パソコン	※(1)	EMISの運用及び記録 パナソニック CF-31 (※東部福祉保健事務所で管理)
	プロジェクター	※(1)	情報の表示用 エプソン EB-1771W (※鳥取空港で管理)
	プロジェクター用スクリーン(100インチ)	※(1)	イズミ RS-100V (※鳥取空港で管理)
	プリンター(複合機)	※(1)	搭乗者名簿の出力、各種情報の出力 エプソン PX-535F (※東部福祉保健事務所で管理)
環境整備 (消耗品)	ホワイトボード(大型W1870mm)	6	ELANSA WK-0005
	ボードペーパー	2	今村紙工 BP-020
	会議用テーブル(W1.800×D450×H700)	8	ニシキ工業 KT-1860GT
	パイプ椅子	20	サンケイ CF104-MX
	テーブルタップ(4口アース付)	8	OA機器、通信機器、医療機器用 サンワサプライ TAP-N3450
	拡声器	2	TOA ER-1106S
	電源コード(ドラム)	4	OA機器、通信機器、医療機器用 日動工業 FW-E33
	燃料携行缶 20L	1	興亜物産 GMD-20
	ポリタンク(飲料水運搬用)	6	堀内商会 折り畳み式20L WA-20
	簡易ベッド	12	患者用+隊員休息用 小川キャンパル アルミGIベッドワイドⅡ
	バック毛布	40	機内での使用を含む 東京都葛飾福祉工場 真空バック難燃毛布カネカロン
	担架	6	アズワン グリーンストレッチャー-FV1010
	点滴架台	6	アズワン8-7558-01
	ターボリン架台	12	担架載せ替え用 患者1対1+機内用 ノルメカエイシア NA-1848
	廃棄物入れ	4	医療用廃棄物・一般廃棄物 三甲 メディカルベール K#40-N
	ブルーシート	6	アイリスオーヤマ 3000 B30-5454
環境整備 (備品)	バックボード	6	ファーンジャパン ハイテクバックボード モデル2010 (ボード+ヘッドイモビライザー、クイックストラップ付)
	レスキューカー(患者搬送用台車)	2	東京都葛飾福祉工場
	折りたたみ式リヤカー	1	東京都葛飾福祉工場 アルミ製6302
	大型テント(6床用)	1	ノルメカエイシア リフトテントTM36 (6m×6m)
	蛍光灯	4	※大型テント附属品
	投光機 (バルーン式:LED)	2	やまびこ産業 EMB24OLTS-F
	発電機 (LPG:カセットガス)	2	ホンダ EU9iGB タイプJN ※並列運転コード附属
	発電機 (ガソリン)	1	やまびこ産業 IEG2000M-Y
	暖房用ストーブ(冬期)	3	イワタニ CB-STV-2 (カセットガス式)
	LPG燃料(カセットガス)	50	イワタニ CB-250S-OR (カセットガス式ストーブ用)
酸素	災害多人数用酸素吸入装置	1	三幸製作所 D8型フローメータ(加湿瓶付き)
	流量計付減圧弁	6	アズワン D-Y15H ヨーク型
	医療用酸素ボンベ(3. 4L型容器)	6	酸素充填容量500L(ヨーク型バルブ)
格納庫等	資機材倉庫	1	ナガワSH-H3型 3坪タイプ

Ⅲ-3 SCU整備資機材保管リスト

設置場所	(2)鳥 取 空 港		
種別	名称	数量	備 考 (商品名等)
通信機器 記録機器	携帯型デジタルトランシーバー(登録局)	10	SCU内関係者との交信 アイコム IC-DPR6 (※鳥取空港で管理、うち、5台は布勢総合運動公園用)
	パソコン	※(1)	EMISの運用及び記録 パナソニック CF-31 (※東部福祉保健事務所で管理)
	プロジェクター	1	情報の表示用 (空港又は布勢総合運動公園で使用) エプソン EB-1771W (※鳥取空港で管理)
	プロジェクター用スクリーン(100インチ)	1	情報の表示用 (空港又は布勢総合運動公園で使用) イズミ RS-100V (※鳥取空港で管理)
	プリンター(複合機)	※(1)	搭乗者名簿の出力、各種情報の出力 エプソン PX-535F (※東部福祉保健事務所で管理)
環境整備 (消耗品)	ホワイトボード(大型W1870mm)	6	ELANSA WK-0005
	ボードペーパー	2	今村紙工 BP-020
	会議用テーブル(W1.800×D450×H700)	8	ニシキ工業 KT-1860GT
	パイプ椅子	20	サンケイ CF104-MX
	テーブルタップ(4口アース付)	8	OA機器、通信機器、医療機器用 サンワサプライ TAP-N3450
	拡声器	2	TOA ER-1106S
	電源コード(ドラム)	4	OA機器、通信機器、医療機器用 日動工業 FW-E33
	燃料携行缶 20L	1	興亜物産 GMD-20
	ポリタンク(飲料水運搬用)	6	堀内商会 折り畳み式20L WA-20
	簡易ベッド	12	患者用+隊員休息用 小川キャンパル アルミGIベッドワイドⅡ
	バック毛布	40	機内での使用を含む 東京都葛飾福祉工場 真空バック難燃毛布カネカロン
	担架	12	アズワン グリーンストレッチャーFV1010
	点滴架台	6	アズワン8-7558-01
	ターボリン架台	12	担架載せ替え用 患者1対1+機内用 ノルメカエイシア NA-1848
	廃棄物入れ	4	医療用廃棄物・一般廃棄物 三甲 メディカルベール K#40-N
	ブルーシート	6	アイリスオーヤマ 3000 B30-5454
環境整備 (備品)	バックボード	6	ファーマージャパン ハイテックバックボード モデル2010 (ボード+ヘッドイモビライザー、クイックストラップ付)
	レスキューカー(患者搬送用台車)	2	東京都葛飾福祉工場
	折りたたみ式リヤカー	1	東京都葛飾福祉工場 アルミ製6302
	大型テント(6床用)	1	ノルメカエイシア リフトテントTM36 (6m×6m)
	蛍光灯	4	※大型テント附属品
	投光機 (パルーン式:LED)	2	やまびこ産業 EMB24OLTS-F
	発電機 (LPG:カセットガス)	2	ホンダ EU9iGB タイプJN ※並列運転コード附属
	暖房用ストーブ(冬期)	3	イワタニ CB-STV-2 (カセットガス式)
	LPG燃料(カセットガス)	50	イワタニ CB-250S-OR (カセットガス式ストーブ用)
酸素	災害多人数用酸素吸入装置	1	三幸製作所 D8型フローメータ(加湿瓶付き)
	流量計付減圧弁	6	アズワン D-Y15H ヨーク型
	医療用酸素ボンベ(3.4L型容器)	6	酸素充填容量500L(ヨーク型バルブ)
格納庫等	救急医療作業車	1	60人対応型

IV 被害報告様式 1 被害発生報告（第1報）

様式 1

被害発生報告（第1報）

（E M I S 緊急時入力項目：代行入力依頼書）

鳥取市保健所 宛（F A X：0857-20-0144、20-3962（予備））

（E-M a i l：hokensoumu@city.tottori.lg.jp）

発信元	医療機関名	担当者
	所在地	
	電話番号	FAX 番号
	メールアドレス	
情報取得日時	年 月 日 時 分	

〈該当する事項の「□」欄に「レ」を記入し回答してください。〉

1 入院病棟の危険状況

倒壊、または倒壊の恐れ	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
火災	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
浸水	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

2 ライフライン・サプライ状況（代替手段でのご使用時は、供給「無」または「不足」を選択してください。）

電気の通常の供給	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有
水の通常の供給	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有
医療ガスの不足	<input type="checkbox"/> 不足	<input type="checkbox"/> 充足
医薬品・衛生資機材の不足	<input type="checkbox"/> 不足	<input type="checkbox"/> 充足

3 患者受診状況

多数患者の受診	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
---------	----------------------------	----------------------------

4 職員状況

職員の不足	<input type="checkbox"/> 不足	<input type="checkbox"/> 充足
-------	-----------------------------	-----------------------------

5 その他（上記以外で支援が必要な理由があれば記入してください。）

--

（注）・被害が発生したら、その概要を直ちに報告してください。

- ・患者に被害が発生している場合には、患者への対応を一通り終えた後、速やかに、様式2「被害対応結果（経過）報告」を提出してください。

IV 被害報告様式 2 被害対応結果（経過）報告（第2報以降）

様式2

被害対応結果（経過）報告（第 報）

（E M I S 詳細入力項目：代行入力依頼書）

鳥取市保健所 宛（F A X : 0857-20-0144、20-3962（予備））

（E-M a i l : hokensoumu@city.tottori.lg.jp）

発信元	医療機関名	担当者
	所在地	
	電話番号	FAX 番号
	メールアドレス	
情報取得日時	年 月 日 時 分	

〈該当する事項の「□」欄に「レ」を記入し回答してください。〉

1 建物の危険状況

	入院病棟	救急外来	一般外来	手術室
倒壊、倒壊のおそれ	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
火災	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
浸水	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
その他（具体的に状況を記入してください。）				

2 ライフライン・サプライ状況

【 残 日 数 】

電気	<input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 発電機使用中 <input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 半日 <input type="checkbox"/> 1日 <input type="checkbox"/> 2日以上
水道	<input type="checkbox"/> 枯渇 <input type="checkbox"/> 井戸 <input type="checkbox"/> 貯給水 <input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 半日 <input type="checkbox"/> 1日 <input type="checkbox"/> 2日以上
医療ガス	<input type="checkbox"/> 枯渇 <input type="checkbox"/> 供給見込無 <input type="checkbox"/> 供給見込有	<input type="checkbox"/> 半日 <input type="checkbox"/> 1日 <input type="checkbox"/> 2日以上
	配管破損 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
食糧	<input type="checkbox"/> 枯渇 <input type="checkbox"/> 備蓄対応中 <input type="checkbox"/> 通常	<input type="checkbox"/> 半日 <input type="checkbox"/> 1日 <input type="checkbox"/> 2日以上
医薬品	<input type="checkbox"/> 枯渇 <input type="checkbox"/> 備蓄対応中 <input type="checkbox"/> 通常	<input type="checkbox"/> 半日 <input type="checkbox"/> 1日 <input type="checkbox"/> 2日以上
不足している医薬品（具体的に不足している医薬品を記入してください。）		
寝台用エレベーター稼働		<input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 可

3 手術・透析の状況

手術可否	<input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 可
人工透析可否	<input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 可

4 現在の患者数状況(入院患者を含め、現在病院[診療所]にいる患者の総数を記入)

実働病床数		床		
発災後受入患者数	重症(赤)	人	中等症(黄)	人
在院患者数(外来+入院)	重症(赤)	人	中等症(黄)	人

5 今後、転送が必要な患者数(入院患者を含めた在院患者のうち、転送が必要な患者の総数を記入)

重症度別患者数	重症(赤)	人	中等症(黄)	人
	人工呼吸	人	酸素	人
	担送	人	護送	人

6 今後、受入可能な患者数

災害時の診療能力〈災害時の受入重症患者数〉 (※災害発生後、1時間で受入可能な重症(赤)患者数を記入)		人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 災害拠点病院 救命救急センター DMAT 病院 のみ </div>	
重症度別患者数	重症(赤)	人	中等症(黄)	人
	人工呼吸	人	酸素	人
	担送	人	護送	人

7 外来受付状況及び外来受付時間

外来受付状況	<input type="checkbox"/> 受付不可	<input type="checkbox"/> 救急のみ	<input type="checkbox"/> 下記の通り受付
時間帯 1	時 分	～	時 分
時間帯 2	時 分	～	時 分
時間帯 3	時 分	～	時 分

8 職員数

医師総数	人	DMAT 医師	人	DMAT 看護師	人	業務調整員	人
出勤医師数		人	うち、DMAT 隊員数		人		
出勤看護師数		人	うち、DMAT 隊員数		人		
その他出勤人数		人	うち、DMAT 隊員数		人		

9 その他(アクセス状況等、特記事項を記入すること)

V 災害備蓄医療品リスト

1 災害用備蓄医薬品リスト

薬効分類	一般名	商品名 (例示) 採用医薬品で選択	dERI 数量：150名／ 日×3日分	商品名 規格 (市立病院の採用薬)	数量
局所麻酔薬	リドカイン塩酸塩	キシロカイン注ボリアンプ1% 10mL	20 管	キシロカイン注シリンジ1% 10mLX10	2
	リドカイン塩酸塩ゼリー	キシロカインゼリー2% 30mL	5 本	キシロカインゼリー2% 30mLX5	1
	リドカイン塩酸塩スプレー	キシロカインボンブスプレー8% 80g	2 本	キシロカインボンブスプレー8% 80g	2
静脈麻酔薬	チオペンタールN a	ラボナール注0.5g	10 管	ラボナール注射用0.5g 10管	1
解熱鎮痛抗炎症薬	ロキソプロフェンナトリウム	ロキソニン錠60mg	2,000 錠	ロキソプロフェン錠60mg「EMEC」 PTP 100錠	20
	【NSAIDs坐剤】	インデパベン坐剤50mg／ボルタレン坐剤50mg	300 個	ボルタレンサボ50mg 50個	6
	アセトアミノフェン	カロナール錠200mg	1,000 錠	アセトアミノフェン錠200mg「マルシ」 PTP 100錠	10
	アセトアミノフェン坐剤	アルビニー坐剤100mg／アンヒバ坐剤100mg	300 個	アンヒバ坐剤小児用100mg 50個	6
	総合感冒薬	P.L.配合顆粒 1g／ビーエイ配合錠	1,000 包/錠	PL配合顆粒 1gX100包	10
鎮痛剤	ベンタゾシン	ソセゴン注射液15mg／ベンタジン注射液15mg	50 管	向 ソセゴン注射液15mg 1mLX10管	5
抗アレルギー薬	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	ネオマレルミンTR錠6mg／ボララミン錠2mg	200 錠	ネオマレルミン錠2mg PTP 100錠	2
	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	ボララミン錠5mg	20 管	ボララミン錠5mg 1mLX10管	2
催眠・鎮静薬	フェノバルビタール	フェノバル 注射液100mg／ノールバル 静注用250mg	10 管/本	向 フェノバル 注射液100mg 1mLX10管	1
	ジアゼパム	セルシン錠2mg／ホリゾン錠2mg	300 錠	向 ホリゾン錠2mg PTP 100錠	3
	ジアゼパム	ホリゾン注射液10mg／セルシン注射液10mg	20 管	向 ホリゾン注射液10mg 2mLX10管	2
	【ベンゾジアゼピン系睡眠導入剤】	レンドルミン錠0.25mg／マイスリー錠5mg	100 錠	向 プロチゾラムOD錠0.25mg「サワイ」 PTP 100錠	1
	エチゾラム	デバス錠0.5mg	300 錠	向 エチゾラム錠0.5mg「KN」 PTP 100錠	3
消化器官用薬	【P.P.I. (プロトンポンプ 阻害剤) 15mg】	タケブロンOD錠15mg	300 錠	ランソプラゾールOD錠15mg「トーフ」 PTP 100錠	3
	【胃酸分泌抑制剤】	ムコスタ錠100mg	500 錠	レバミド錠100mg「サワイ」 PTP 100錠	5
	ブチルスコバロミン臭化物	ブスコパン錠10mg	200 錠	ブスコパン錠10mg PTP 100錠	2
	ブチルスコバロミン臭化物	ブスコパン錠20mg	20 管	ブスコパン錠20mg 1mLX10管	2
	メトクロプラミド	プリンペラン錠5mg	200 錠	メトクロプラミド錠5mg「テリ」 PTP 100錠	2
	【乳酸菌製剤等】	ラックビー微粒N／ビオフェルミン／ミヤBM錠	1,000 包/錠	ラックビー微粒N 1gX1008包	1
	【刺激性下剤】	ブルゼニド錠12mg	200 錠	センノシド錠12mg「トーフ」 PTP 100錠	2
	塩酸ロベラミド	ロベラミド塩酸塩カプセル1mg	100 個	ロベラミド塩酸塩カプセル1mg「タイヨー」 PTP 100P	1
呼吸器用薬	テオフィリン	ユニフィルLA錠200mg	100 錠	ユニフィルLA錠200mg PTP 100錠	1
	アミノフィリン水和物	ネオフィリン注250mg	20 管	ネオフィリン注250mg 10mLX10管	2
	【β刺激吸入薬 (エアゾルタイプ)】	サルタノールインヘラー100μg	5 本	サルタノールインヘラー100μg 13.5mLX1	5
	【ステロイド吸入薬 (エアゾルタイプ)】	キューパール100エアゾール	5 本	キューパール100エアゾール(大日本) 8.7gX1	5
	【鎮咳薬】	メジコン錠15mg／レスブレン錠20mg／アスベリン錠10mg	200 錠	メジコン錠15mg PTP 100錠	2
循環器用薬	リドカイン塩酸塩	静注用キシロカイン2%	10 管	リドカイン静注用2%シリンジ「テルモ」 5mLX10筒	1
	ベラパミル塩酸塩	ワソラン静注 5mg	10 管	ワソラン静注5mg 2mLX10管	1
	ニトログリセリン	ニトロベン舌下錠0.3mg	100 錠	ニトロベン舌下錠0.3mg SP 100錠	1
	ニトログリセリン貼付薬	ミリステープ5mg／ニトロダームTTS25mg	140 枚	ニトロダームTTS25mg 140枚	1
	ニカルジピン塩酸塩	ベルジピン注射液10mg	10 管	ニカルジピン塩酸塩注射液10mg「サワイ」 10管	1
利尿薬	アムロジピンベシル酸塩	ノルバスク錠5mg／アムロジン錠5mg	500 錠	アムロジピンOD錠5mg「トーフ」 PTP 100錠	5
	フロセミド	ランシックス錠20mg	200 錠	フロセミド錠20mg「NP」 PTP 100錠	2
	フロセミド	ランシックス注射液20mg	10 管	フロセミド注20mg「テリ」 2mLX50管	1
ジオグ・ナリフター	【浸透性利尿剤】	グリセオール注200mL	3 本	グリセリン果糖配合点滴静注「HK」 200mLX20袋	1
	アドレナリン	ボスミン注1mg／アドレナリン注0.1%シリンジ	10 管	ボスミン注1mg 1mLX10管	1
	ドパミン塩酸塩	イノバン注射液200mg／塩酸ドパミン注キット600mg	10 管	塩酸ドパミン注キット600(持田) 0.3% 200mLX10袋	1
	ドブタミン塩酸塩	ドブトレックス注射液100mg／ドブミン注600mg	10 管	ドブタミン点滴静注液100mg「F」 10管	1
	ノルアドレナリン	ノルアドレナリン注射液1mL	10 管	ノルアドレナリン注1mg 1mLX10管	1
抗血栓薬	アトロピン硫酸塩	アトロピン硫酸塩注0.5mg／アトロピン0.05%シリンジ	20 管	アトロピン硫酸塩注0.5mg「フソー」 1mLX10管	2
	ワルファリンカリウム	ワーファリン錠1mg	100 錠	ワーファリン錠1mg PTP 100錠	1
	アスピリン腸溶錠	バイアスピリン錠100mg	100 錠	アスピリン腸溶錠100mg「ファイザー」 PTP 100錠	1
ステロイドホルモン	プレドニゾロン	プレドニゾロン錠5mg	100 錠	プレドニゾロン錠5mg PTP 100錠	1
	ヒドロコルチゾン／メチルプレドニゾロン	ソル・コステフ静注用100mg／ソル・メドロール静注用125mg	10 本	ソル・コステフ注射用100mg 5瓶	2
抗生物質	【セフェム系抗生物質】	セフトラキラムカプセル250mg／セフトラキラム錠100mg	200 個	セフトラキラムカプセル100mg「日医工」 PTP 100P	2
	【抗生物質 (小児用)】	セフトラキラム細粒小児用100mg／サワシリン細粒10%	240 包	セフトラキラム細粒小児用100mg 1gX120包	2
	【セフェム系抗生物質】	セフトラキラムα注射液1g／ラセナゾリン注射液1g	20 本	セフトラキラム注射液1g「日医工」 10瓶	2
	【ペニシリン系抗生物質】	パセトシン錠250mg／サワシリン錠250mg	200 錠	サワシリンカプセル250 PTP 100P	2
抗菌薬	【ニューキノロン系抗菌剤】	クラビット錠500mg／シプロキサシン錠200mg	200 錠	レボフロキサシン錠500mg「DSEP」 PTP 50錠	4
	【ニューキノロン系抗菌剤】	クラビット点滴静注バッグ500mg／シプロキサシン注300mg	10 本	クラビット点滴静注バッグ500mg／シプロキサシン注300mg	1
糖尿病薬	ヒトインスリン (速攻型)	ヒューマリンR注射液(100単位/mL, 10mL)	2 本	ヒューマリンR注100単位/mL 10mL	2
中毒治療薬	インスリン皮下投与用針付シリンジ	ロードーズシリンジ (100単位用)	2 箱	326631 ロードーズ 29G-100 84本	2
	炭酸水素ナトリウム	メイロン静注7%20mL	20 本	メイロン静注7% プラ20mLX10管	2
生物学製剤	破傷風トキソイド	沈降破傷風トキソイド	12 本	沈降破傷風トキソイド「生研」 0.5mLX4瓶	3
輸液電解質製剤	5%ブドウ糖液	5%ブドウ糖液500mL	5 本	ブドウ糖注5%PL「フソー」 ポリアル 500mLX20瓶	1
	細胞外液補充液 (リンゲル液)	ラクテック注500mL／ソララクト輸液500mL	10 本	ラクテック注 500mLX20袋	1
	輸液用電解質液 (維持液)	ソリタT3号輸液500mL	5 本	アセトキープ3G注 500mLX20瓶	1
	生理食塩水	生理食塩水500mL	10 本	生理食塩水バッグ「フソー」 FCAL 500mLX24袋	1
	生理食塩水	生理食塩水100mL	30 本	大塚生食注 プラ 100mLX10瓶	3
	生理食塩水	生理食塩水20mL	10 本	生理食塩水PL「フソー」 スノーブル 20mLX10管	1
	5.0%ブドウ糖液	5.0%ブドウ糖液20mL	10 本	ブドウ糖注50%PL「フソー」 ポリアル 20mLX10管	1
	【抗生物質軟膏】	バスマイシン軟膏／ゲンタシン軟膏0.1%	10 本	ゲンタマイシン硫酸塩軟膏0.1%「タイヨー」 10gX10	1
皮膚科外用薬	フラジオマイシン硫酸塩	ソフラチュール貼付剤10cmX10cm	100 枚	ソフラチュール貼付剤10cm 10X10cm 10枚	10
鎮痛・抗炎症貼付薬	【ステロイド含有軟膏】	リンデロン-VG軟膏0.12% 5g	10 本	リンデロン-VG軟膏0.12% 5gX10	1
	【NSAIDs貼付薬】	カトレップパップ70mg／ロキソニンパップ100mg	20 袋	セルタッチパップ140 14X20cm 7枚X20	1
消毒剤	クロルヘキシジングルコン酸塩 (手指消毒)	ウエルバス手指消毒液0.2%／ヒスコール液0.5% 500mL	2 本	消毒用エタプラス (滅菌) ¥1420 1L	2
	エタノール	消毒用エタノール 500mL	2 本	シオ・エタ IP 消毒液 500mL	2
	クロルヘキシジングルコン酸塩0.05%	ステリクロンW液0.05% 500mL	2 本	プリビシー液0.02% 1本包装 500mL	2
	ポビドンヨード	イソジン液10%／ヒンヨード消毒液10% 250mL	2 本	ポビドンヨード消毒液10% 250mL	2
	【消毒綿 (塩化ベンザルコニウム含有)】	ボケット コール	300 包	アルウエッティone-E 1枚入(100包)	3
眼科用	ポビドンヨード (うがい用)	イソジンガーグル液7% 30mL	10 本	ポビドンヨードガーグル液7%「明治」 30mLX50	1
	【抗菌点眼液】	クラビット点眼液0.5%／バクシダール点眼液0.3% 5mL	10 本	レボフロキサシン点眼液1.5%「TOA」 5mLX10	1
洗腸薬	グリセリン	グリセリン洗腸剤60mL	10 個	グリセリン洗腸液50%「ムネ」60mL 60mLX10個	1

2 災害用備蓄医療材料リスト

区分	一般名	参考規格	数量 (1事務所あたり)	メーカー	品名	規格	製造番号	包装数
診療用具	聴診器	リットマン型、ケース付	2 個		聴診器	リットマン型、ケース付		
	打診器	針、ハゲ付、大貫式	1 個		打診器	針、ハゲ付、大貫式		
	体温計	平型、プラスチック付	10 個	テルモ	電子体温計	予測式	ET-C2075	10本/箱*1
	血圧計	タイコス型、ケース付	2 個		血圧計	タイコス型、ケース付		
	メジャー	2 m、自動式	2 個		メジャー	2 m、自動式		
消耗品	パルスオキシメーター	PMP-100A【パルスワン】	1 台	バンフックメディコ	パルスオキシメーター	PMP-100A【パルスワン】		
	単回使用メス	サイズ№11	20 本	フェザー安全剃刀	髭刃メス	No.11 ステンレス刃		1枚*20
		サイズ№15	20 本	フェザー安全剃刀	髭刃メス	No.15 ステンレス刃		1枚*20
	針付縫合糸 絹糸	1/2円形逆角針 (HR30mm)、0.75cm	12 本	アルスレッサ ファーマ	ネコスーチャー減菌針付絹製縫合糸	黒 0.75cm 1/2逆角針 30mm 片針	HR3001SB75	12本/箱*1
		1/2円形逆角針 (HR16mm)、3-0、45cm	12 本	アルスレッサ ファーマ	ネコスーチャー減菌針付絹製縫合糸	黒 3-0 45cm 1/2逆角針 16mm 片針	HR1603SB45	12本/箱*1
消耗品	針付縫合糸ナイロン	1/2円形逆角針 (HR12mm)、4-0、75cm	12 本	アルスレッサ ファーマ	ネコスーチャー減菌針付ナイロン製縫合糸	青 4-0 75cm 1/2逆角針	HR1204NA75-KF2	12本/箱*1
		1/2円形逆角針 (HR25mm)、0.75cm	12 本	アルスレッサ ファーマ	ネコスーチャー減菌針付ナイロン製縫合糸	青 0.75cm 1/2逆角針 25mm 片針	HR2501NA75-KF2	12本/箱*1
	手術用手袋	サイズ6.5	20 双	メンタックヘルスケア	バイオジェル スーパーセンシティブ	6.5 パウダーフリー ラテックス製	82565	50双/箱*1
		サイズ7.0	20 双	メンタックヘルスケア	バイオジェル スーパーセンシティブ	7.0 パウダーフリー ラテックス製	82570	50双/箱*1
		サイズ7.5	20 双	メンタックヘルスケア	バイオジェル スーパーセンシティブ	7.5 パウダーフリー ラテックス製	82575	50双/箱*1
		サイズ8.0	20 双	メンタックヘルスケア	バイオジェル スーパーセンシティブ	8.0 パウダーフリー ラテックス製	82580	50双/箱*1
	滅菌ガーゼ	【滅菌ガーゼ】	300 枚	オオサキメディカル	滅菌ホスディアルガーゼ	30cm×30cm 4折 10枚入/袋	11200 RS4-10	20袋/箱*2
	単回使用汎用サージドレープ	90cm×90cm	60 枚	ホキメディカル	メキシンドレープ	900mm×900mm 丸穴 吸水/防水	SP-833H09	50枚/箱*2
	膿盆	デイスボタイプ	100 枚		膿盆	デイスボタイプ 100枚入り		100枚/箱*1
	舌圧子	木製、滅菌済みデイスボタイプ	200 枚	オガタ医材	木製舌圧子	ME-01 150×16×1.6mm 成人用 滅菌済	11707001	100枚/箱*2
	伸縮包帯	7.5cm×9m	10 巻	材料科学工業	伸縮包帯-タライト	7.5cm×9m 1巻入	42061	10巻/箱*1
		サイズS	100 枚	コアロ	アスリガ手袋	S、L、M、XL、XXL、XXXL、100枚入/箱	20-526	10巻/箱*1
	処置用手袋	サイズS	100 枚	コアロ	アスリガ手袋	M、L、XL、XXL、XXXL、100枚入/箱	20-527	10巻/箱*1
		サイズL	100 枚	コアロ	アスリガ手袋	L、XL、XXL、XXXL、100枚入/箱	20-528	10巻/箱*1
	皮膚接合用テープ	6.0mm×100mm	100 枚	スリーエムジャパン	ステリストリップ スキンローラー	6.0×100mm スタンダード 白色 10本入/袋	R1546	10本/袋*10
		腕用、3号 3cm×20m	1 巻	日本衛材	ネットホータイ	3号 3cm×20m 伸長 (腕・下腿)	NE-173	1巻/箱*1
	ネット包帯	頭用、5号 5cm×20m	1 巻	日本衛材	ネットホータイ	5号 5cm×20m 伸長 (頭)	NE-175	1巻/箱*1
蘇生用具	手動式蘇生器	シリコンサシテーター (専用リザーバー付)	2 個		手動式蘇生器	シリコンサシテーター (専用リザーバー付)		
	シリコン蘇生用マスク	№.3	1 個	ナカムラ	シリコン蘇生用マスク	小児用大		
		№.4	1 個	ナカムラ	シリコン蘇生用マスク	成人用		
		№.5	1 個	ナカムラ	シリコン蘇生用マスク	成人用大		
	短期的使用口腔咽頭エアウェイ	1〜7号 各2	14 個		エアウェイ	キヤガイド、床用、0〜7号 各1		7種*2
	フレンジアダプター	大・中・小 各2	6 個		フレンジアダプター	大・中・小 各1		3種*2
	吸引器	足踏式	2 個		吸引器	足踏式		1個*2
カテーテル類	吸引チューブ	10Fr	20 本	ニプロ	吸引カテーテル	3.33mm(10Fr) Lg 460mm	23-697 / NSC-10(TA2)C	50本/箱*1
		14Fr	20 本	ニプロ	吸引カテーテル	4.67mm(14Fr) Lg 400mm	23-655 / NSC-14(TA2)CS	50本/箱*1
	気管内チューブ	カ付付、7.5Fr	2 本	日本メディカルネクス	パーカー気管チューブ	内径7.5mm カ付付	I-PFHV-75	1本*2
	気管内チューブ	カ付無、5Fr	2 本		気管内チューブ	カ付無 5Fr		1本*2
	チューブホルダー	グリップETチューブホルダー	10 個		口腔咽頭エアウェイ		4025-15	1個*2
	輪状甲状軟骨切開キット	ミントラックⅡスタンダードキット	2 キット	スミスメディカル・ジャパン	ミントラックⅡ セルジガンキット		100/461/000	2個/箱*1
	酸素吸入カテーテル	酸素吸入カテーテル	2 本	アトムメディカル	アトム酸素鼻カニューラ OX-20	L ソケット ノックラッシュ	41123	20個/箱*1
	胃用チューブ	12Fr(サンブカテーテル)	5 本	日本コフウメディエン	セラムサンブチューブ	12Fr×120cm	212	1本/袋*5
		16Fr(サンブカテーテル)	5 本	日本コフウメディエン	セラムサンブチューブ	16Fr×120cm	216	1本/袋*5
		8Fr	10 本	トップ	ラテックスカテーテル	8Fr 3ml	08001	10本/箱*1
	バルンカテーテル	14Fr	10 本	トップ	ラテックスカテーテル	14Fr 5ml	08004	10本/箱*1
		16Fr	10 本	トップ	ラテックスカテーテル	16Fr 5ml	08005	10本/箱*1
	絆創膏	25mm×7m	12 巻	日東メディカル	優肌絆 25mm (12巻入り)			12巻/箱*1
治療用具	注射器	2.5ml、22G×1 R B、針付	200 本	ジェイ・エル・エル	JMSシリンダ G	2.5ml、22G、Lg 1.1/4インチ	JS-S25C2232R	100本/箱*2
	注射器	5ml、22G×1.1/4 R B、針付	200 本	ジェイ・エル・エル	JMSシリンダ G	5ml、22G、Lg 1.1/4インチ	JS-S05C2232R	100本/箱*2
	注射器	10ml、22G×1.1/4 R B、針付	200 本	ジェイ・エル・エル	JMSシリンダ G	10ml、22G、Lg 1.1/4インチ	JS-S10C2232R	100本/箱*2
	注射器	20ml、針無	100 本	フレット	シリジッ	20ml、横口、シリジッ ナイフ	SS-20ES2	50本/箱*2
	注射針	22G×1.1/4 R B	300 本	トップ	トップ注射針	22Gx1.1/4インチSB	00810	100本/箱*3
	静脈留置針	22G	100 本	ビーマー・フック・シリジッ	ビーマー・フック・シリジッ	22G Lg 25mm L 針付	4251128-03 / 09-156	50本/箱*2
	輸液セット	成人用 (1ml×20滴)	150 本	トップ	トップ輸液セット	20滴/ml	TIS2-026W/21105	50本/箱*3
	輸液セット	小児用 (1ml×60滴)	50 本	トップ	トップ輸液セット	60滴/ml	TIS-026WP/02880	50本/箱*1
	延長チューブ	2.1ml、50cm	50 本	トップ	トップ エックス伸縮チューブ	X2-LS0	1635	50本/箱*1
	三方活栓	R型	100 個	トップ	トップ 三方活栓	R型、7/16インチ(R1-FL)	01303	20個/箱*5
	顔帯付反射鏡	直径9cm	2 個		顔帯付反射鏡	直径9cm		
	減圧弁	【減圧弁】	2 個		減圧弁			
	マニホールド	【マニホールド】	2 台		マニホールド			
	バルブ式流量計	【バルブ式流量計】	2 台		バルブ式流量計			
	軽量酸素ボンベ	2 L	4 本		軽量酸素ボンベ	2 L		
衛生材料他	レサシテーターケース	錠付	2 ケース		レサシテーターケース	錠付		
	アルフェンシシーネ	3号	12 枚		アルフェンシシーネ	3号、3枚入 1×75×400mm		3枚/袋*4
	ロール副子	10cm	4 個		ロール副子	サムスプリント、10cm		1個/袋*4
	ソフトシーネ	サイズL	1 本		ソフトシーネ	L 830		
	ソフトシーネ	サイズS	1 本		ソフトシーネ	S 630		
	ソフトシーネ	サイズSS	1 本		ソフトシーネ	S S 510		
	綿棒	滅菌済みデイスボタイプ、綿球4.8mm	300 本	日本綿棒	メンテック 綿棒	綿直径4.8mm 全長149mm 紙軸 滅菌済 1本入	1P1504	300袋/箱*1
	綿棒	滅菌済みデイスボタイプ、綿球12.0mm	150 本	日本綿棒	メンテック 綿棒	綿直径12.0mm 全長150mm 紙軸 滅菌済 1本入	1P1512	150袋/箱*1
	消毒用綿球	№20	450 球	オオサキメディカル	ネオ・バール	直径20mm 滅菌済 3球入/個	32516 EB20-3	20個/箱*40
	清浄綿		2000 枚	オオサキメディカル	リニョットDesinCap	4x4cm	510410 / 605-180160-00	200枚/箱*10
	清浄綿		1000 枚	オオサキメディカル	アルウィット one-E	3.7cm×8cm 2折 1枚×100包入 医薬部外品	31076	100枚/箱*10
	紙絆創膏	9mm×10m	30 巻	ニチン	紙/ン	No.9-10 9mm×10m 紙粘着テープ	430214	10巻/箱*1
	布絆創膏	50mm×5m	10 巻	祐徳薬品工業	ユートク/ン	No.50 50mm×5m	1005	10巻/箱*1
	救急絆創膏	サイズM	100 枚		カット/ン	Mサイズ、19x72mm、100枚入		100枚/箱*1
	ペンライト	電池付き	2 本		ペンライト	単4電池2本付		1本*2
	検査用紙ジャブ	【紙コップ】	100 個	アベジン	検査用紙ジャブ	211ml(SM-205)	866776	100個/箱*1
	サインペン	赤色	1 本		サインペン	本 (赤)		1本
	石鹸	薬用	4 個		石鹸	薬用せっけんミューズ		1個/箱*4
	軽便カミシリ	【軽便カミシリ】	10 本		軽便カミシリ	5本入		5本/箱*2
	縫縫セット	縫1.糸 (白・黒) 各1 針2 5本	2 セット		縫縫セット	縫1.糸 (白・黒) 各1 針2 5本		2セット
	ビニール袋 (ポリ袋)	20×12cm	400 枚		ビニール袋 (ポリ袋)	NO.7、20×12cm、100枚入		100枚/袋*4
	ビニール袋	30×20cm	100 枚		ビニール袋	30×20cm、50枚入		50枚/袋*2
	マッチ	箱入り	24 箱入り		マッチ	12箱入り		12箱/袋*2
	ローソク	防災用缶入り (大型非常用)	4 個		ローソク	防災用缶入り (大型非常用)		個1個*4
	懐中電灯	防水、単1電池2本無し、予備電池付	6 個		懐中電灯	防水、単1電池2本無し、予備電池付		個1個*6